

令和7年度 赤磐市社会福祉協議会事業報告書

I. 地域福祉課

1. 地域福祉推進事業

(1) 地区社協設置促進事業

重点事業

① 地区社協設置促進協力員設置事業

地区社協設置促進協力員（山陽2名、熊山1名）に地区社協設置に向けての助言等、ご協力をいただきました。

② 地区社協設置促進計画

地区社協設置に向けて未設置地区の福祉課題を把握しながら、地区社協設置促進協力員とともにアプローチ方法について検討を行い、計画を立てて推進を図りました。

③ 地区社協説明会の開催

市補助事業（一部）

<高陽川東地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者数
8月19日	高陽川東地域懇談会 (民生委員児童委員主催)	地域福祉活動の情報共有	山陽老人福祉センター	18人

<西山地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者数
5月20日	西山地域懇談会 (民生委員児童委員主催)	地域福祉活動の情報共有	赤磐市消防本部	13人

<桜が丘西地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者数
5月3日	桜が丘西連合町内会 会長会議	各町内会活動等の 情報交換	桜が丘いきいき 交流センター	10人
6月7日	桜が丘西連合町内会 三役会議			27人
7月5日	桜が丘西連合町内会 会長会議			10人
9月6日	桜が丘西連合町内会 三役会議			25人
10月4日	桜が丘西連合町内会 会長会議			11人
11月1日	桜が丘西連合町内会 三役会議			9人
12月6日	桜が丘西連合町内会 三役会議			22人
1月10日	桜が丘西連合町内会 会長会議			10人
2月7日	桜が丘西連合町内会 三役会議			10人
3月7日	桜が丘西連合町内会 三役会議			22人

<小野田地区> ※各区長への聞き取り

<豊田・熊山地区> ※各区長への聞き取り

④ ワークショップ・セミナー等の開催

・支え合いの地域づくりフォーラム

月 日	内 容	場 所	出席者数
12月20日	基調講演 「高齢者の孤立予防についての理解と地域における つながりづくり～住民主体の支え合い活動に学ぶ～」 講 師：村社 卓 氏（岡山県立大学保健福祉学部 教授） 実践発表①沼田元気クラブ（沼田区） 「特技発見から生まれた新たな交流活動」 ②さくら会（由津里区） 「さくら会活動報告」 ③西一たすけあい隊（桜が丘西1丁目町内会） 「西一たすけあい隊活動報告」	赤坂健康 管理センター	156人

⑤ 設立準備会の開催支援 ※実績なし

(2) 地区社協活動支援事業

① 地区担当職員の配置

福祉圏域ごとに担当職員を配置し、オブザーバーとして活動支援を行いました。

② 情報交換会の開催（地区社協代表者会議／地区社協交流会）

月 日	会議名	内 容	場 所	出席者数
2 月 26 日	地区社協交流会	・活動紹介 山陽地区社会福祉協議会 石相地区社会福祉協議会 桜が丘東地区社会福祉協議会 山方地区社会福祉協議会 ・情報交換	赤坂健康管理センター	30 人
3 月 27 日	吉井地域地区社協代表者会議	・令和 7 年度各地区社協活動報告 ・令和 8 年度地区社協助成金 ・赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業 ・情報交換 他	吉井会館	5 人

③ 助成金の交付

市補助事業(一部)

地区社会福祉協議会助成金交付要綱より 13 の地区社協に対して助成を行いました。

- ・両宮地域ぐるみ活動協議会
- ・山陽地区社会福祉協議会
- ・笹岡地区社会福祉協議会
- ・周匝地区社会福祉推進協議会
- ・布都美地区社会福祉推進協議会
- ・鳥中下地区社会福祉協議会
- ・石相地区社会福祉協議会
- ・可真地区社会福祉協議会
- ・山方地区社会福祉推進協議会
- ・とりなかむら
- ・軽部地区社会福祉協議会
- ・桜が丘東地区社会福祉協議会
- ・仁堀地区社会福祉推進協議会

* 佐伯北地区社会福祉推進協議会は未申請

・地区社協活動状況

< 両宮地域ぐるみ活動協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
5 月 18 日	総会	高月公民館	26 人
6 月 28 日	第 1 回 役員会		17 人
7 月	両宮だより発行	-	-
7 月 18 日	ランタン作り	高月公民館	10 人
7 月 23 日	子どもラジオ体操、児童生活指導		80 人
8 月 3 日	ふれあい活動（作品展・夏祭り）		250 人
9 月 20 日	反省会（福祉会議について他）		18 人
10 月 31 日	交通安全教室		17 人
11 月 30 日	両宮地域福祉会議		14 人
3 月 13 日	防犯講座		13 人
3 月 28 日	第 2 回役員会		11 人

< 鳥中下地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
5 月 10 日	総会	高屋集会所	14 人
5 月 10 日	話し合い活動①		14 人
9 月 6 日	話し合い活動②		14 人
10 月	「鳥中下だより」発行	-	-
12 月 7 日	ふれあい活動「クリスマス会」	山陽老人福祉センター	66 人
2 月 7 日	話し合い活動③	高屋集会所	17 人
3 月	「鳥中下だより」発行		-

<とりなかむら>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4 月 1 日	ふれあい活動①「ペタンク大会」	尾谷ペタンク場	30 人
5 月 10 日	総会	尾谷公会堂	13 人
5 月 10 日	話し合い活動①、調査広報活動①		13 人
7 月 13 日	ふれあい活動②「ペタンク大会」	尾谷ペタンク場	7 人
8 月 30 日	役員会	尾谷公会堂	10 人
10 月 25 日	学習活動①「健康教室」	赤磐市環境センター	25 人
12 月 6 日	話し合い活動②、調査広報活動②	尾谷公会堂	10 人
2 月 14 日	役員会		9 人
2 月	とりなかむら通信発行	-	-
3 月 14 日	学習活動①「健康教室」	赤磐市環境センター	32 人

<山陽地区社会福祉協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
5 月 24 日	総会	山陽総合福祉センター	13 人
6 月 10 日	第 1 回 さんさんカフェ	山陽 5 丁目集会所	35 人
6 月 28 日	第 1 回 役員会	山陽老人福祉センター	11 人
7 月 9 日	認知症講演会	山陽総合福祉センター	51 人
8 月 1 日	「サンサンキッズ」訪問	山陽西小学校	7 人
8 月	地区社協だより（第 9 号）発行	-	-
9 月 11 日	第 2 回 さんさんカフェ	山陽 3 丁目集会所	48 人
10 月 15 日	第 3 回 さんさんカフェ	山陽 7 丁目集会所	39 人
10 月 18 日	第 2 回 役員会	山陽老人福祉センター	11 人
10 月	地区社協だより（第 10 号）発行	-	-
11 月 6 日	高齢者対象交通安全教室	山陽 5 丁目集会所	39 人
11 月 22 日	第 3 回 役員会	山陽老人福祉センター	12 人
12 月 6 日	山陽団地ウォークラリー	山陽団地内	130 人
1 月 31 日	第 4 回 役員会	山陽老人福祉センター	10 人
2 月 28 日	第 5 回 役員会		11 人
3 月 28 日	第 6 回 役員会		10 人

<石相地区社会福祉協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4 月 16 日	第 1 回役員会	春の家デイルーム	11 人
4 月 26 日	第 1 回運営委員会	赤坂健康 管理センター	16 人
5 月 10 日	総会		31 人
7 月 18 日	第 2 回役員会	春の家デイルーム	8 人
8 月	ふれあい活動チラシ作成	-	-
8 月 31 日	第 2 回運営委員会	赤坂健康管理センター	15 人
10 月 16 日	第 3 回役員会	春の家デイルーム	8 人
10 月 26 日	ふれあい活動	赤坂健康管理センター	48 人
11 月 18 日	第 4 回役員会	春の家デイルーム	8 人
1 月 26 日	第 5 回役員会	春の家ボランティアルーム	6 人
1 月	地区社協だより発刊、学習活動チラシ作成	-	-
2 月 1 日	学習活動「移動支援勉強会」	赤坂健康管理センター	25 人
	第 3 回運営委員会		
3 月 30 日	監査・第 6 回役員会	春の家デイルーム	9 人

< 軽部地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
5 月 8 日	第 1 回役員会	春の家ボランティアルーム	9 人
5 月 17 日	総会 各部会	赤坂健康管理センター	31 人
7 月 8 日	第 2 回役員会	春の家ボランティアルーム	7 人
8 月 7 日	第 1 回推進委員会	赤坂健康管理センター	21 人
8 月	調査広報活動	—	—
9 月 21 日	ふれあい活動	軽部小学校	82 人
11 月 11 日	第 3 回役員会	春の家ボランティアルーム	11 人
12 月 17 日	第 2 回推進委員会	赤坂健康管理センター	19 人
1 月	調査・広報活動	—	—
2 月 13 日	第 4 回役員会	春の家ボランティアルーム	7 人
2 月 16 日	学習活動	赤坂健康管理センター	26 人
3 月 8 日	監査・第 5 回役員会	春の家ボランティアルーム	8 人

< 笹岡地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4 月 22 日	第 1 回役員会	笹岡公民館	7 人
5 月 9 日	第 2 回役員会		8 人
5 月 11 日	総会		23 人
6 月	調査広報活動	—	—
7 月 13 日	第 1 回推進委員会	笹岡公民館	20 人
8 月 1 日	第 3 回役員会		5 人
10 月 6 日	第 4 回役員会		21 人
10 月 17 日	第 5 回役員会		11 人
11 月 2 日	ふれあい活動	笹岡小学校	10 人
11 月 25 日	第 6 回役員会	笹岡公民館	8 人
1 月 18 日	第 2 回推進委員会		17 人
1 月	調査広報活動	—	—
2 月 9 日	第 7 回役員会	笹岡公民館	8 人
3 月 21 日	学習活動		21 人
3 月 27 日	監査・第 8 回役員会		8 人

< 可真地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
5 月 25 日	総会	熊山総合センター	22 人
6 月	「可真福祉だより」発行	—	—
6 月 29 日	運営委員会	熊山総合センター	12 人
7 月 20 日	ふれあいカフェ打ち合わせ会		26 人
8 月 9 日	ふれあいカフェ	老人憩いの家	150 人
9 月 13 日	運営委員会	熊山総合センター	10 人
2 月 15 日			11 人
3 月 28 日	研修会		18 人

< 桜が丘東地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
5 月 11 日	総会	桜が丘いきいき交流センター	28 人
7 月	簡単レシピ発行	—	—
7 月	地区社協だより発行		
7 月 22 日～25 日	こどもふれあい活動「誰か助けて！夏休み！」	桜が丘東 5 丁目集会所	9 人
12 月 7 日	福祉会議	桜が丘いきいき交流センター	オンライン

月 日	内 容	場 所	出席者数
12 月	地区社協だより発行	—	—
1 月			
2 月 3 日	スマホの使い方勉強会	桜が丘いきいき交流センター	4 人
2 月	地区社協だより発行	—	—
2 月	簡単レシピの作成・配布		
随時	命のバトン配布・更新		

< 周匝地区社会福祉推進協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4 月 11 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 41 人	—	7 人
5 月 13 日	総会・福祉会議	周匝会館	21 人
6 月 13 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 41 人	—	7 人
8 月 8 日			7 人
10 月 11 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 40 人	—	7 人
11 月 5 日	ボランティア研修会	周匝会館	17 人
12 月 12 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 39 人	—	7 人
2 月 13 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 38 人		7 人
3 月 18 日	運営委員会	周匝会館	9 人

< 山方地区社会福祉推進協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4 月 11 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 25 人	—	5 人
6 月 13 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 28 人	—	5 人
8 月 8 日			5 人
10 月 10 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 27 人	—	5 人
12 月 12 日			5 人
2 月 13 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 26 人	—	5 人
3 月 22 日	学習活動・話し合い活動	山方研修センター	25 人

< 佐伯北地区社会福祉推進協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4 月 11 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者、80 歳以上高齢者世帯）/対象者 27 人	—	2 人
6 月 13 日			2 人
8 月 8 日			2 人
10 月 10 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者、80 歳以上高齢者世帯）/対象者 24 人	—	2 人
12 月 12 日			2 人
12 月 23 日	福祉施設クリスマス訪問	地区内福祉施設	1 人
2 月 13 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者、80 歳以上高齢者世帯）/対象者 23 人	—	2 人

< 仁堀地区社会福祉推進協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4 月 18 日	総会・福祉会議	仁美農村振興センター	25 人
4 月 28 日	戸津野・中勢実 福祉会議	竜天くつし夢の里会館	9 人
5 月 9 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 29 人	—	7 人
5 月 17 日	居場所づくりオープンカフェ in 平山	平山コミュニティハウス	21 人
7 月 20 日	居場所づくりオープンカフェ in くつし	竜天くつし夢の里会館	34 人
9 月 12 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 35 人	—	7 人
11 月 2 日	仁堀地区対抗グラウンドゴルフ大会	仁美小学校	40 人
11 月 14 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 37 人	—	7 人
1 月 9 日			7 人
2 月	高齢者宅訪問事業（75 歳以上ひとり暮らし高齢者、80 歳以上高齢者世帯）/対象者 60 世帯	—	—
第 2・4 木曜日	健康サポート喫茶	仁美農村振興センター	17 人

＜布都美地区社会福祉推進協議会＞

月 日	内 容	場 所	出席者数
5 月 2 日	総会	布都美林間学校	15 人
5 月 9 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 18 人	—	2 人
6 月 21 日	ふれあいの集い	布都美林間学校	20 人
9 月 12 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 19 人	—	2 人
11 月 14 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 18 人	—	2 人
11 月 15 日	ふれあいの集い	布都美林間学校	20 人
1 月 9 日	友愛訪問（75 歳以上ひとり暮らし高齢者）/対象者 18 人	—	2 人
3 月 10 日	ふれあいの集い・話し合い活動	布都美林間学校	16 人

（３）福祉推進員活動支援事業

① 福祉推進員の配置

小地域における福祉活動の担い手として福祉推進員を設置し、民生委員児童委員等と連携して、地区住民の見守り活動等を推進しました。

山陽地域 45 人（45 地区） 赤坂地域 21 人（22 地区） 熊山地域 31 人（31 地区）
吉井地域 31 人（34 地区） 合計 128 人（前年度 128 人）

② 新任者研修会の開催

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	4 月 18 日	・福祉推進員について ・ふれあい見守りネットワーク活動について	山陽総合福祉センター	21 人
赤坂	4 月 21 日		春の家 ボランティア ルーム	7 人
	4 月 23 日			
	4 月 25 日			
熊山	4 月 22 日		熊山総合センター	18 人
吉井	4 月 15 日		吉井会館	14 人

③ 民生委員児童委員合同研修会の開催（福祉推進員民生委員交流会）

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	5 月 20 日	・ふれあい見守りネットワーク活動について ・情報交換	赤磐市消防本部	40 人
赤坂	6 月 12 日	・認知機能の低下を見守り、つなぐについて	赤坂健康管理センター	16 人
熊山	4 月 28 日	・ふれあい見守りネットワーク活動について ・情報交換	熊山総合センター	21 人
吉井	4 月 15 日	・人との交流の機会に関するアンケート結果報告 ・情報交換	吉井会館	23 人

④ 福祉推進員連絡会の開催

・赤磐市福祉推進員連絡会

月 日	内 容	場 所	出席者数
11 月 10 日	・生活支援課（あすてらす）事業案内 ・代表者の互選について ・令和 7 年度福祉推進員に関わる事業について ・令和 8 年度福祉推進員スケジュール等について ・情報交換	山陽総合福祉センター	15 人

・各地域福祉推進員連絡会

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	5 月 20 日	・令和 6 年度福祉推進員活動報告について ・令和 7 年度福祉推進員スケジュールについて ・代表者及び副代表者の互選について	赤磐市環境センター	40 人
赤坂	6 月 12 日		赤坂健康管理センター	16 人
熊山	4 月 28 日		熊山総合センター	21 人
吉井	4 月 15 日		吉井会館	23 人

(4) ふれあい見守りネットワーク活動支援事業

市補助事業（一部）

身近な地域での住民相互による安心・安全なまちづくりを進めるため、ふれあい見守りネットワーク活動を推進しました。

自治会を単位とする要援護者の孤独感の解消や状況把握等を行う友愛訪問や身近な生活圏を拠点にした仲間づくりを行うふれあいサロンの実施を呼びかけました。

① ふれあい・いきいきサロン設置促進

内 容	令和 7 年度					前年度
	山陽	赤坂	熊山	吉井	合計	
サロン設置地区数 (地区数)	34 (45)	20 (22)	21 (31)	14 (34)	89 (132)	89 (132)
地区組織化率	75.5%	90.9%	67.7%	41.1%	67.4%	67.4%
延べ回数	415 回	185 回	203 回	146 回	949 回	993 回
延べ人数 (ひと月 30 人上限で計算)	9,196 人	3,163 人	2,792 人	1,980 人	17,131 人	16,970 人

○区・町内会による住民の親睦交流を目的とした行事等を含む。

② ご近所見守りネットワーク活動支援

重点事業

福祉推進員を対象とした新任者研修・連絡会、民生委員児童委員協議会、地区懇談会、個別の相談時等において活動・状況説明を行いました。また、ふれあい見守りネットワーク活動の手引きを一部修正し、関係者へ配布を行いました。

③ 助成金の交付

市補助事業（一部）

ふれあい見守りネットワーク活動助成金交付要綱に基づき 110 地区 114 団体に対して助成を行いました。

内 容	基本額	活動相当額	
		運営費	活動費
助成額	前年度10月1日時点の75歳以上人口に300円を乗じた額	月額 1,000円 ただし、ひと月の上限は1回とする。	延べ参加者に100円を乗じた額。ただし、月額の上限は3,000円とする。
備 考	余剰金が発生した場合は、次年度に繰越できる。	1. 特段の事情があると認められ、複数のサロンが設置されている場合、サロンごとに請求できる。 2. 事業完了後、実績に応じて精算を行う。	

(5) サロン等送迎支援事業

① 先進地の情報収集

サロン等送迎支援に関する新たな取り組みについて進展はありませんでしたが、生活支援コーディネーター活動や地区社協活動において、外出支援に関する情報提供や相談支援、研修の場づくり等を行いました。

また、通所付添サポート活動の今後の取り組みについて、赤磐市と連携しながら、通所付添サポーターに対してヒアリングを実施し、検討しました。

(6) 障がい者ふれあい事業

① 当事者団体の交流活動支援

赤磐市身体障害者福祉連合会や赤磐市手をつなぐ親の会の事務局として、会員同士の交流活動を支援しました。

(7) 子どもの居場所応援事業

① 子どもの居場所づくり及び活動支援

- ・学習サポーター 登録者数 6人
- ・学習サポーターの派遣

月 日	内 容	場 所	派遣人数
8月7日 12日 19日 21日	桜が丘西2丁目夏休み宿題サポート	桜が丘西2丁目 集会所	2人

② 子どもの居場所担い手講座

月 日	内 容	場 所	参加者数
7月25日	内容：子どもの居場所の必要性 講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学科 講師 直島 克樹 氏 実践発表：4番目の居場所アノネノネ	熊山総合 センター	15人

③ 子どもの居場所活動団体交流会

月 日	内 容	場 所	参加者数
12月23日	内容：一般社団法人ジンジャー・エールの取り組み と地域コーディネーターの活動について 講師：一般社団法人ジンジャー・エール 代表理事 東 由加 氏 意見交換	山陽総合福祉 センター	12人

2. 生活支援コーディネーター事業

市受託事業

(1) 生活支援コーディネーター活動実績

(単位：件数)

項 目	件 数	項 目	件 数
①地域ニーズと資源の状況の見える化の推進に関すること	255	⑤資源開発に関すること	86
②地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけに関すること	72	⑥地域のニーズとサービスのマッチングに関すること	208
③関係者のネットワークに関すること	28	⑦コーディネーター間・関係機関と連携に関すること	137
④地域の目指す姿・方針の共有及び意識の統一に関すること	57	⑧その他	18
合 計			861

① 地域のニーズと資源の状況の見える化の推進

- 1) 地域の集いの場などへ出向き、地域の「困りごと（課題）」や地域で行われている活動の把握に努めました。
- 2) 「あかいわ通いの場マップ」を活用し、関係・専門機関等を通じて、活動の周知、参加の促進を図りました。また、本資料の更新作業を行いました。
- 3) 民間事業者等が行っている生活支援サービスの情報を収集し、可視化を目的に「赤磐市くらしを支えるサービス集」を作成しました。
- 4) 山陽地区において通いの場に対するニーズ把握や人材発掘を目的にアンケートを実施しました。
また、赤坂・吉井地区では昨年度のアンケート結果に基づいた関係機関との協議や個別対応を行いました。

② 地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ

- 1) 地区社協設置促進協力員と協力し、第2層協議体（地区社協）の設置について地域への働きかけを行いました。
- 2) 地区社協との連携調整や連合町内会との情報交換等を通じ、課題把握、活動支援等、多様な主体への働きかけや連携強化を図りました。

③ 関係者のネットワーク化

- 1) 赤磐市地域支え合いネットワーク推進協議会（第1層協議体）への参加
赤磐市地域支え合いネットワーク推進協議会に出席し、多様な活動に対する課題と取り組みについて多様な意見をいただくことで、次年度以降の生活支援コーディネーター業務の参考としました。

月 日	内 容	場 所
7 月 10 日	・令和6年度生活支援体制整備事業の活動報告及び活動の課題について ・令和7年度生活支援体制整備事業の活動計画について	赤磐市役所 本庁
3 月 11 日	・令和7年度生活支援体制整備事業の活動報告及び今後の方針について	

- 2) 地域ケア個別会議へ参加（計12回）

地域包括支援センターが開催する地域ケア個別会議へ出席し、虚弱な高齢者のニーズをするとともに、高齢者の充実した生活に向けて社会資源の情報提供を行いました。

④ 地域の目指す姿・方針の共有及び意識の統一

- ・支え合いの地域づくりフォーラムの開催

月 日	内 容	場 所	出席者数
12 月 20 日	●基調講演 「高齢者の孤立予防についての理解と地域におけるつながりづくり～住民主体の支え合い活動に学ぶ～」 講 師：村社 卓 氏（岡山県立大学保健福祉学部 教授） ○実践発表 ①沼田元気クラブ（沼田区） 「特技発見から生まれた新たな交流活動」 ②さくら会（由津里区） 「さくら会活動報告」 ③西一たすけあい隊（桜が丘西1丁目町内会） 「地域高齢者生活支援等の支え合い活動」	赤坂健康管理センター	156 人

⑤ 資源開発

入浴通所サービスにおける各種サポーター（通所付添サポーター、入浴サポーター）の活動支援を行いました。

- 1) 高齢者の多様な通いの場を創出（山陽2丁目楽々茶話会、折り紙教室等）
- 2) 生活の中の困りごとに対応するボランティア活動の創出や相談・活動支援
 - ・有償ボランティアによる生活支援活動を創出（笹岡地区社協）
 - ・地域における支え合い活動の立ち上げ支援を目的とし、情報交換の場づくりやフォーラム等においての情報提供等、相談支援（桜が丘西8丁目、桜が丘東5丁目）
 - ・入浴通所サービスにおける各種サポーター（通所付添サポーター・入浴サポーター）の活動支援
- 3) サポーター合同ミーティングの開催（計12回）
「赤磐市モモちゃんサポーターの会」「入浴サポーター」の合同ミーティングを毎月開催、活動状況及び課題の共有、担い手の養成やフォローアップ

- 4) 「赤磐市モモちゃんサポーターの会」「入浴サポーター」の運営・活動支援
自宅で入浴することが難しい高齢者を対象に赤磐市が入浴通所サービスを実施し、自宅から入浴施設まで通所付添を行うサポーターの募集や、活動調整等を生活支援コーディネーターが行いました。
- 5) 新規サポーターの確保に向けた働きかけ
入浴通所サービスを実施するにあたり、随時サポーターの確保に努めました。
(新規サポーター：通所付添2名、入浴1名)
- 6) 通所付添サポート活動の現状と今後の活動の検討に向けて、通所付添サポーターに対して個別ヒアリングを実施し、今後の活用について検討しました。
- 7) 地域包括支援センター主催の講座において講師を務めました。
・脳イキイキ☆認知症予防教室（山陽地域）

月 日	内 容	場 所
9 月 17 日	テーマ「人との交流について」	山陽老人福祉センター

・介護予防支援ボランティア養成講座

月 日	内 容	場 所
7 月 24 日	テーマ「今日からあなたもボランティア」 ～安心して過ごせるまちづくりのためにできること～	山陽老人福祉センター

⑥ 地域ニーズとサービスのマッチング

- 1) 入浴通所サービス事業の実施に関して、通所付添サポート事業の実施協力・「赤磐市モモちゃんサポーターの会」「入浴サポーター」の運営・活動支援を行いました。
(延べ利用者数：138人 延べ活動人数：272人)
- 2) 収集した生活支援サービス等の情報について、相談があったケアマネジャーや住民等に対し、必要に応じて情報提供を行いました。
- 3) 高齢者の特技を活かした新たな活動の創出に対する活動支援を行いました。
(沼田元気クラブ、桜が丘西2丁目夏休み子ども宿題サポート)
- 4) 多様な通いの場の利用促進を図りました。(わかいわ等)
- 5) 社会資源（デマンドバス）の利用促進のため、チラシを作成し、体験会等を実施しました。

⑦ コーディネーター間・関係機関との連携

- 1) 生活支援体制整備事業連絡会の開催
2か月に1回、市の担当者と生活支援コーディネーター（SC）の連絡会を開催し、社会資源の共有や地域課題に対する取り組みなど、情報共有を図りました。

月 日	内 容	場 所
5 月 15 日	・今年度の SC 活動について ・地域支え合いネットワーク推進協議会について	山陽総合福祉センター
7 月 17 日	・地域支え合いネットワーク推進協議会について（復命） ・各地域の活動について	
9 月 18 日	・SC 活動について (各地域の状況、全体の取り組み)	
11 月 20 日	・社会福祉法人と SC の情報交換会について ・各地域の活動について	
1 月 15 日	・支え合いの地域づくりフォーラムについて ・各 SC 活動について、今後の事業について	
3 月 19 日	・第2回協議会を振り返って ・今後の活動	

- 2) 地域包括支援センターとの連携
社会資源や取り組みの現状や今後の取り組み等について情報交換を行うなど、平時より相談・つなぎ・情報提供等の日常的連携を行いました。

3) 社会福祉法人と生活支援コーディネーターの連絡会

生活支援コーディネーターの役割・活動を伝えるとともに、社会資源等の情報交換を行いました。

月 日	内 容	場 所
10 月 20 日	・ 情報提供 「生活支援コーディネーターの役割と地域での活動紹介」 ・ 情報交換 「各法人の取り組み、地域との関わり」について 「法人と生活支援コーディネーターが連携できること」について	山陽総合福祉センター

⑧ 普及啓発

- 1) 入浴通所サービスに関わるサポーター等の募集
- 2) 生活支援コーディネーター活動紹介チラシ配布及び説明

⑨ 各種研修（県主催）への参加

- ・ 生活支援コーディネーターに関係する研修へ積極的に参加しました。（主催：岡山県他）

3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター事業

① 運営委員会・連絡会

・ ボランティアセンター運営委員会

月 日	内 容	場 所	出席者数
第 1 回 6 月 19 日	・ 令和 7 年度ボランティアセンター事業について ・ 次世代のボランティア確保について ・ 各地域での活動について	山陽総合福祉センター	20 人
第 2 回 9 月 25 日	・ 高校生ボランティア養成講座について ・ 第 4 次地域福祉活動計画の最終年度評価（案）及び第 5 次地域福祉活動計画の 3 か年計画（案）		16 人
第 3 回 1 月 27 日	・ 令和 7 年度高校生ボランティア養成講座について ・ 令和 8 年度ボランティアセンター事業（案） ・ ボランティア登録情報の様式の変更について ・ ボランティアセンター運営委員及び災害部会員の選出について		17 人

・ ボランティア連絡会

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	3 月 13 日	・ ボランティアセンター運営委員会の報告 ・ ボランティアセンター運営委員・災害部会員の選出 ・ 依頼者向けボランティア登録用紙の変更について	山陽総合福祉センター	16 人
赤坂	3 月 27 日	・ 令和 7 年度事業報告について ・ 令和 8 年度スケジュールについて ・ 令和 8 年度ボランティア活動保険について ・ 令和 8 年度赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業について ・ ボランティアセンター運営委員・災害部会員の選出 ・ ボランティア登録情報・情報交換会	赤坂公民館	7 人
熊山	8 月 6 日	・ ボランティア基礎講座 講師：ゆうあいセンター 巻尾 信一 氏 ゆうあいセンター 濱田 美紗子氏 ・ 情報交換会	熊山総合センター	16 人
	3 月 31 日	・ 令和 7 年度事業報告について ・ 令和 8 年度ボランティア活動保険について ・ 令和 8 年度赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業について ・ ボランティアセンター運営委員・災害部会員の選出		9 人

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
吉井	3 月 26 日	・ 令和 7 年度ボランティアセンター運営委員会報告 ・ 令和 8 年度ボランティア活動保険について ・ 令和 8 年度赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業について ・ ボランティアセンター運営委員・災害部会員の選出 ・ 依頼者向けボランティア登録用紙の変更について ・ 情報交換	吉井会館	6 人

② ボランティア相談・コーディネート

内 容		令和 7 年度	前年度
相 談 件 数	活 動 希 望	9 件	18 件
	紹 介 希 望	63 件	65 件
	ボランティア募集	2 件	1 件
	助 成 金 紹 介	2 件	7 件
	福 祉 教 育	14 件	35 件
	そ の 他	35 件	61 件
	合 計	125 件	187 件

③ ボランティア情報の広報・啓発

- ・ 「ボランティア募集情報」・・・9 月更新
- ・ 「ボランティアを依頼したいかたへ」・・・9 月更新

④ 登録ボランティアの活動支援 ※災害ボランティアを除く

内 容		令和 7 年度	前年度
ボランティア 登 録 者 数	グ ル ー プ	41 団体・ 511 人	39 団体・ 820 人
	個 人	122 団体・ 1,673 人	46 人
	合 計	41 団体・ 6584 人	39 団体・ 1,866 人

⑤ ボランティア保険加入促進

内 容		令和 7 年度	前年度
ボランティア保険 加 入 者 数	ボランティア活動保険	122 件・ 1,673 人	128 件・ 1,850 人
	ボランティア行事用保険	31 件・ 1,951 人	51 件・ 3,141 人

⑥ ボランティア養成講座

月 日	内 容	場 所	出席者数
12 月 21 日	講話「好奇心が社会課題とつながる～小中高生が地域とつながる、新しい参画のかたち～」 講師 一般社団法人やかげ小中高こども連合 (YKG60) 代表／岡山県立矢掛高等学校 高校コーディネーター 奥村 美恵 氏	山陽総合福祉センター	22 人 (高校生 8 人)

(2) 災害ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター運営委員会・災害部会

月 日	内 容	場 所	出席者数
第 1 回 6 月 19 日	・ 令和 7 年度災害ボランティア養成講座及び災害ボランティアセンター設置運営訓練について ・ 第 4 次地域福祉活動計画（中間）評価について	山陽総合福祉センター	7 人
第 2 回 10 月 29 日	・ 赤坂地域の防災を考える情報交換会について ・ 令和 7 年度災害ボランティア養成講座及び災害ボランティアセンター設置運営訓練について ・ 第 5 次地域福祉活動計画（案）＜災害時の支援体制づくり＞		6 人

② 災害ボランティア養成講座

月 日	内 容	場 所	参加者数
9 月 14 日	講義 被災地における災害ボランティアセンターの役割について 災害ボランティアセンター設置運営訓練 講師：特定非営利活動法人岡山 NPO センター 詩叶 純子 氏	仁美農村振興センター	45 人

③ 災害ボランティアセンター設置運営訓練

上記のとおり、災害ボランティア養成講座と同日に実施しました。

④ 災害ボランティア登録

災害ボランティアに特化した登録用紙を作成し、募集を行いました。

内 容	令和 7 年度	前年度
災害ボランティア登録者数	58 人	53 人

4. 福祉教育推進事業

(1) 福祉体験事業

① 出前福祉講座

地域	日 程	学校名・学年・人数	内 容	講師及び協力者
山陽	11 月 4 日 ～ 14 日	山陽東小学校 (4 年生 93 人)	車いす体験 高齢者疑似体験	(高齢者疑似体験セット・車いす貸出)
	12 月 4 日		盲導犬講話	福祉教育指導者 (岡山県盲導犬友の会会員 1 人)
	12 月 12 日		手話体験・ 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者 (個人登録者 6 人、 手話サークル山陽ももの会 6 人)
	1 月 9 日 23 日		点字体験・ 視覚障がい者講話	福祉教育指導者 (点字サークル「あい」 3 人)
	9 月 26 日 10 月 24 日	山陽北小学校 (4 年生 72 人)	点字体験・ 視覚障がい者講話	福祉教育指導者 (点字サークル「あい」 6 人)
	10 月 15 日 16 日		車いす体験・ 高齢者疑似体験	福祉教育指導者 (山陽多聞荘デイサ ービスセンター 1 人)
	11 月 7 日		手話体験・ 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者 (個人登録者 5 人、 手話サークル山陽ももの会 4 人)
	1 月 20 日	山陽小学校 (4 年生 72 人)	手話体験・ 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者 (個人登録者 3 人、 手話サークル山陽ももの会 5 人、手 話サークルメビウス 2 人)
	2 月 27 日	桜が丘中学校 (1 年生 200 人)	手話体験・ 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者 (個人登録者 4 人、 手話サークル山陽ももの会 6 人、手 話サークルメビウス 4 人)
	3 月 6 日		ボッチャを通じた 交流	作業処しあわせの家 原本敏幸氏 他 11 人
赤坂	6 月 13 日	石相小学校 (4 年生 14 人)	高齢者疑似体験	福祉教育指導者 (まごころの里赤磐 3 人)
	6 月 27 日		車いす体験	福祉教育指導者 (デイセンターなずな赤磐 2 人)
	10 月 3 日		手話体験・ 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者 (個人登録者 3 人)
	11 月 28 日		点字体験・ 視覚障がい者講話	福祉教育指導者 (点字サークル「あい」 5 人)
	2 月 13 日		福祉施設交流事業	福祉教育指導者 (デイセンターなずな赤磐 5 人)
	2 月 5 日	軽部小学校 (3・4 年生 10 人)	手話体験	福祉教育指導者 (個人登録者 3 人)
	2 月 13 日		点字体験	福祉教育指導者 (点字サークル「あい」 2 人)

地域	日 程	学校名・学年・人数	内 容	講師及び協力者
熊山	6 月 13 日	豊田小学校 (4 年生 20 人)	点字体験	福祉教育指導者 (点字サークル「あい」5 人)
	10 月 10 日		手話体験 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者(個人登録者 3 人) 手話サークル山陽ももの会 2 人)
	12 月 17 日	磐梨小学校 (4 年生 14 人)	車いす体験	福祉教育指導者(広虫荘 2 人)
	2 月 12 日		障がい者講話	福祉教育指導者(個人登録者 2 人)
吉井	2 月 27 日	城南小学校 (4 年生 18 人)	点字体験 視覚障がい者講話	福祉教育指導者 (点字サークル「あい」4 人)
	3 月 6 日		車いす体験	社協職員
	3 月 12 日		高齢者疑似体験	
学校数		9 校	講 座 数	26 回

② 夏のボランティア体験事業

・参加者数等

内 容		令和 7 年度	前年度
参加申込者数	中学生	183 人	227 人
	高校生	11 人	0 人
	その他	1 人	0 人
	合 計	195 人	227 人
受入施設数	高齢者分野	6 施設	10 施設
	障がい児・者分野	17 施設	7 施設
	子ども分野	11 施設	16 施設
	その他	2 団体	4 団体
	合 計	34 施設・2 団体	33 施設・4 団体

・事前研修会、活動調整会議

地区	月 日	内 容	場 所	参加者数
山陽	7 月 12 日	1) 事前研修会 ・ボランティア体験事業の進め方 ・ボランティア活動の心得等 2) 活動調整会議	山陽総合福祉センター	体験参加者 121 人 受入施設等 9 人
赤坂			赤坂健康管理センター	体験参加者 23 人 受入施設等 3 人
熊山	7 月 17 日		磐梨中学校	体験参加者 26 人 受入施設等 4 人
吉井	7 月 12 日		吉井会館	体験参加者 23 人 受入施設等 2 人

・事後研修会

地区	月 日	内 容	場 所	参加者数
山陽	9 月 13 日	1) 事後研修会 ・ボランティア体験活動を振り返って	山陽総合福祉センター	体験参加者 98 人 受入施設等 4 人
赤坂	8 月 13 日		赤坂健康管理センター	体験参加者 24 人 受入施設等 3 人
熊山	9 月 18 日		熊山総合センター	体験参加者 23 人 受入施設等 2 人
吉井	9 月 02 日		吉井会館	体験参加者 23 人 受入施設等 1 人

(2) 福祉教育の推進

重点事業

① 福祉教育連絡会

市内小・中学校及び福祉教育指導者を対象に出前福祉講座についてアンケートを実施し、その結果をもとに、現状課題とその解決方法について協議を行いました。

月 日	内 容	場 所	出席者数
2 月 6 日	(座長) 美作大学 松尾 彰 氏 (報告)・福祉教育実施状況について ・出前福祉講座アンケート結果について (意見交換)・福祉教育を実施する中で感じていること ・今後の取り組みについて	山陽総合福祉センター	26 人

② 福祉教育指導者の確保

福祉教育指導者は、当事者やボランティア、専門的な知識や技術を有する施設関係者等に登録をしていただき、小・中学校等の求めに応じ、出前福祉講座で指導等を行いました。

内 容	令和 7 年度	前年度
福祉教育指導者	9 団体 77 人	9 団体 48 人

5. 在宅福祉サービス事業

(1) 貸出事業

① 介護機器貸出事業 (対象：在宅で介護機器を必要とする者及びその家族)

会員特典事業

貸出機器・器具	令和 7 年度		前年度	
	保有台数	貸出件数	保有台数	貸出件数
車 い す	34 台	84 件	37 台	79 件
シャワーチェアー	2 台	0 件	3 台	1 件
バス グ リ ッ プ	1 台	0 件	1 台	0 件
歩 行 器	8 台	3 件	8 台	5 件
合 計		87 件		85 件

② 物品貸出事業 (対象：地域福祉活動及びボランティア活動等で使用する団体個人)

貸出機器・器具	令和 7 年度		前年度	
	保有数	貸出件数	保有数	貸出件数
車 い す	34 台	40 件	37 台	30 件
高齢者疑似体験セット	8 セット	10 件	8 セット	4 件
視覚・聴覚障害者体験セット	8 セット	0 件	8 セット	0 件
点 字 器	100 台	7 件	100 台	3 件
点 字 本	5 冊	0 件	5 冊	1 件
白 杖	40 本	0 件	40 本	1 件
ア イ マ ス ク	122 枚	0 件	122 枚	0 件
レクリエーション物品	91 種類	317 件	88 種類	205 件
手 品 物 品	80 種類	1 件	80 種類	0 件
テ ン ト	10 張	3 件	10 張	2 件
プロジェクター	4 台	58 件	5 台	63 件
ス ク リ ー ン	2 台	27 件	2 台	27 件
ワイヤレスマイク	5 台	131 件	5 台	121 件
D V D プ レ イ ヤ ー	1 台	3 件	1 台	5 件
C D プ レ イ ヤ ー	2 台	3 件	2 台	0 件
そ の 他		2 件		4 件
合 計		602 件		486 件

③ チャイルドシート等貸出事業

会員特典事業

貸出物	令和7年度	前年度
チャイルドシート	48 件	31 件
ジュニアシート	12 件	15 件
合 計	60 件	46 件

④ 車両貸出サービス事業

会員特典事業

貸出車両	令和7年度	前年度
タント（スロープ付軽自動車）	52 件	17 件
ステップワゴン（8人乗ワゴン車）	6 件	4 件
合 計	58 件	21 件

(2) リサイクル事業

内 容	引渡件数	
	令和7年度	前年度
介護用品リサイクル	32 件	45 件
育児用品リサイクル	39 件	44 件

6. その他福祉活動

(1) 地域福祉活動計画の推進

① 第4次地域福祉活動計画評価の実施

職員プロジェクト会議で各事業における目標値の達成状況や評価を行い、今後の取り組みについて検討を行いました。そして、本会総務部会及び第5次地域福祉活動計画策定委員会において協議を行い、主な重点課題を第5次計画の重点事業としました。

② 第5次地域福祉活動計画策定【新】

・策定委員会の開催

月 日	内 容	場 所	出席者数
第1回 7月28日	- 委員長・副委員長の選出 - 会長諮問 - 第4次地域福祉活動計画中間評価について - 地域における生活課題と解決のための取り組み - 第5次地域福祉活動計画策定スケジュール	山陽総合福祉センター	21 人 (策定委員9人)
第2回 11月21日	- 第4次地域福祉活動計画評価報告書（案）について - 第5次地域福祉活動計画（素案） - 今後のスケジュールについて		22 人 (策定委員10人)
第3回 2月13日	- 第5次地域福祉活動計画（素案）に対する意見募集の結果について - 第5次地域福祉活動計画（案）について - 答申書（案）について - 社協会長へ答申		22 人 (策定委員10人)

(2) 社協会員の加入促進

① 会員募集やPR活動の強化

・社協会員加入状況 ※住民会員加入率 32.8% (規定外を除く) [前年度: 33.8%]

区 分		令和7年度		前年度	
		会員数	金 額	会員数	金 額
住民会員	普通会員 (一口1,000円)	5,450 世帯	5,459,000 円	5,638 世帯	5,644,000 円
	規定外 (一口1,000円未満)	996 世帯	249,468 円	701 世帯	209,300 円
	小 計 <1>	6,446 世帯	5,708,468 円	6,339 世帯	5,853,300 円
	特別会員 (一口1,000円・三口以上)	9 世帯	29,000 円	10 世帯	32,000 円
	小 計 <2>	9 世帯	29,000 円	10 世帯	32,000 円
	小 計 <3>=<1>+<2>	6,454 世帯	5,737,468 円	6,349 世帯	5,885,300 円
賛助会員	規定 (一口3,000円以上)	243団体・事業所	838,000 円	250団体・事業所	874,000 円
	規定外 (一口3,000円未満)	1団体・事業所	1,000 円	3団体・事業所	4,000 円
	小 計 <4>	244団体・事業所	839,000 円	253団体・事業所	878,000 円
合 計 <3>+<4>		6,699	6,576,468 円	6,602	6,763,300 円

② 区・町内会会議への出席

・各地域区長会

月 日	会 議 名	場 所
4 月 21 日	熊山地域区長会役員会	熊山支所
4 月 22 日	山陽地域区長会	中央図書館
4 月 28 日	熊山地域区長会	くまやまふれあいセンター
5 月 1 日	赤坂地域区長会	赤坂健康管理センター
5 月 2 日	吉井地域区長会	吉井会館
1 月 20 日	赤坂地域区長会	赤坂健康管理センター
1 月 21 日	山陽地域区長会	中央図書館
1 月 22 日	熊山地域区長会役員会	熊山支所
1 月 28 日	熊山地域区長会	くまやまふれあいセンター
1 月 29 日	吉井地域区長会	吉井会館

・山陽・桜が丘西・桜が丘東連合町内会

月 日	会 議 名	場 所
4 月 22 日	山陽・桜が丘西・桜が丘東町内会会長会	赤磐市役所本庁
5 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
5 月 3 日	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター
6 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
6 月 7 日	桜が丘西連合町内会三役会議	桜が丘いきいき交流センター
7 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
7 月 5 日	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター
8 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
9 月 1 日		
9 月 6 日	桜が丘西連合町内会三役会議	桜が丘いきいき交流センター
10 月 2 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
10 月 4 日	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター
11 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
11 月 1 日	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター
12 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館

月 日	会 議 名	場 所
12 月 6 日	桜が丘西連合町内会三役会議	桜が丘いきいき交流センター
1 月 6 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
1 月 10 日	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター
1 月 27 日	山陽・桜が丘西・桜が丘東町内会長会	赤磐市役所本庁
2 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
2 月 7 日	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター
3 月 1 日	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
3 月 7 日	桜が丘西連合町内会三役会議	桜が丘いきいき交流センター

(3) 地域活動支援センター「ももっこ作業所」の運営

市受託事業

① 登録者及び通所者

内 容	令和 7 年度	前年度
登 録 者	6 人	7 人
通 所 者	5 人	5 人

② 主な事業報告

- ・ 作業内容 結び織り座布団、マフラー、刺し子・刺繍・絞り染め布巾
新聞・段ボール・アルミ缶リサイクル活動

・ 事業等

月	事業等
4 月	文化講習（手芸教室）、請負作業、廃品回収
5 月	文化講習（手芸教室）、絞り染め作り、廃品回収
6 月	文化講習（手芸教室）、実習生受入（新見公立大学 1 人）、請負作業 『きょうされん戦後 80 年折り鶴プロジェクト』参加（100 羽） 廃品回収
7 月	文化講習（手芸教室）、ボランティア受入（中学生 2 人） 絞り染め作り、廃品回収
8 月	文化講習（手芸教室）、ボランティア受入（中学生 2 人）、請負作業 廃品回収
9 月	請負作業、綿花収穫、廃品回収
10 月	文化講習（手芸教室）、絞り染め作り、実習生受入（岡山医療センター看護科 3 人）、防災研修会（赤磐消防署）、廃品回収
11 月	文化講習（手芸教室）、絞り染め作り、実習生受入（岡山医療センター看護科 4 人）、福祉就労フェア（赤坂健康管理センター）、廃品回収
12 月	文化講習（手芸教室）、廃品回収
1 月	文化講習（手芸教室）、赤磐市高齢者・障がい者虐待防止研修、廃品回収
2 月	文化講習（手芸教室）、避難訓練、廃品回収
3 月	文化講習（手芸教室）、職員研修（吐しゃ物の処理方法）、職員研修 （コンプライアンスについて）

③ 利用者送迎の実施

希望する通所者 3 名に対し、送迎支援を実施しました。

④ 情報交換会の開催 ※未実施

(3) 赤磐市戦没者追悼式の実施協力（※平成 30 年度より赤磐市及び赤磐市社会福祉協議会共催事業）

月 日	場 所	参列者	前年度
7 月 29 日	桜が丘いきいき交流センター	56 人	67 人

(4) 赤磐市民生委員児童委員協議会との連携

地区	定例会 出席状況	民生委員協力事業等
山陽	8回	・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協活動 ・フードドライブ活動
赤坂	11回	・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協活動
熊山	11回	・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協 ・共同募金（熊山駅前街頭募金）
吉井	11回	・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協活動 ・災害ボランティア養成講座案内 ・人との交流機会アンケート

(5) 赤磐市老人クラブ連合会との連携

老人クラブの地域づくり並びに自主運営に関する協定書に基づき、本会が推進する地域づくり活動へ参加協力を依頼しました。

(6) 関係機関（自治会等）との連絡調整

地区社協設立に向けて協力を依頼し、地域課題の把握などを行いました。

(7) 福祉団体への活動支援

福祉団体の活動強化を図り自主的に活動を行えるよう、育成指導及び支援を行いました。

① 赤磐市身体障害者福祉連合会

山陽地区身体障害者福祉協会（令和7年7月31日解散）
赤坂地区身体障害者福祉協会
熊山地区身体障害者福祉協会
吉井地区身体障害者福祉協会

② 赤磐市遺族連合会

山陽地区遺族会
赤坂地区遺族会
熊山地区遺族会
吉井地区遺族会

③ 赤磐市手をつなぐ親の会

(8) 赤い羽根共同募金運動の協力

- ① 広報紙「赤い羽根共同募金」の発行
- ② 募金活動（個別募金、法人募金、街頭募金等）
- ③ 赤磐市共同募金委員会の開催



Ⅱ. 生活支援課

1. 総合相談支援事業

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業（赤磐市くらし・しごと応援センター「あすてらす」）**市受託事業**
経済的・社会的に困窮しているかたの自立生活を支援するため、生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業等を受託・実施し、就職や家計管理、住居等のサポートを行いました。

① 相談件数等

内 容		令和7年度	前年度
新規相談件数		100件	78件
延相談件数		1,586件	1,902件
プラン作成件数	自立相談支援事業	45件	49件
	家計改善支援事業	19件	14件
就 労 者 数		5人	20人
支援終了件数	自立相談支援事業	18件	12件
	家計改善支援事業	6件	4件

② 家計専門相談の実施

ファイナンシャル・プランナーによる家計専門相談を年9回実施しました。

③ 自立支援ネットワーク連絡会議の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
6月6日	・実践報告（NPO法人おかやまUFE） ・生活困窮者自立相談支援事業等中期計画について	赤磐市役所本庁	23人
1月30日	・実践報告（おかやま地域若者サポートステーション） ・就労支援のあり方に関する検討会の設置について		21人

④ 支援調整会議（稼働能力判定会議）の開催

生活困窮者の相談支援にあたり、生活困窮者支援調整会議を開催し、自立支援計画の適切性を判断するとともに、関係機関の役割調整及び事後評価の検証等を行いました（年13回開催）。

⑤ 生活困窮者自立支援セミナーの開催（社会福祉大会合同開催）

月 日	内 容	場 所	参加者数
10月4日	特別講演『地域で最期まで支える』 講師：琴平町社会福祉協議会会長 越智 和子氏	くまやふれあいセンター	140人

⑥ 家計改善支援セミナーの開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
2月10日	講演『今すぐ始めるわが家の家計点検』 講師：ファイナンシャル・プランナー 鶴田 宣子氏	山陽総合福祉センター	13人

⑦ あすてらす通信の発行

あすてらす通信（No.20～No.23）を発行するとともに、本会広報紙やホームページ、行政広報誌の他、各種会議等を通じて事業の周知を図りました。

⑧ 生活困窮者支援スーパーバイザー設置事業

生活困窮者支援スーパーバイザーを設置し、相談支援員等を対象にグループスーパービジョンを実施しました（年4回実施）。

⑨ 顧問弁護士設置事業

法的な問題に対して適切に初期対応が行えるよう、顧問弁護士を設置し、相談支援体制を整備しました（相談件数：8件）。

(2) 生活困窮者緊急一時支援事業

① 食料支援事業

市民や団体、企業、商店、福祉施設・事業所及び学校等の協力を得てフードバンク活動やフードドライブ活動を実施し、食料を無償で提供しました。

内 容	令和7年度	前年度
支 給 件 数	286 件	342 件
寄付受付件数等	234 件 (2,267 kg)	111 件 (1,997 kg)

② フードドライブポスト設置促進事業【新】

生活困窮者支援に必要な食料を確保するため、商店や公共施設等の協力を得てフードドライブ活動を実施しました (1,490 点・288 kg)。

③ くらしサポート事業の協働実施

赤磐市社会福祉法人連絡会に加入する 15 法人との協働により、小中学校や関係団体の協力のもと、フードドライブを実施しました (1,171 点・746 kg)。

④ 日用品等支援事業

市民等から日用品や衣類、家電用品等の寄付を募り、無償で貸与又は提供しました。

内 容	令和7年度	内 容
貸付・支給件数	21 件	33 件
寄付受付件数等	58 件	44 件

⑤ おうち片づけ応援事業

既存のサービスでは対応が困難な生活困窮者の生活環境を整えるため、無料で清掃や片づけ、整理整頓等の支援を行いました。

内 容	令和7年度	前年度
支 援 件 数	0 件	2 件

⑥ おうち片づけサポート事業の協働実施

赤磐市社会福祉法人連絡会との協働のもと、生活再建に向けて環境を整えるため、清掃や片づけ等のサポートを行いました (利用実績無し)。

⑦ 緊急援護資金貸付事業

緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった生活困窮者の自立更生の援護に資するため、小口資金の貸し付けを行いました。

内 容	令和7年度	前年度
相 談 件 数	7 件	15 件
貸 付 件 数	3 件	10 件
貸 付 金 額	55,000 円	130,600 円

(3) 居住支援事業

重点事業

① 相談件数等

内 容	令和7年度	前年度
新規相談件数	18 件	15 件
延相談件数	113 件	103 件
プラン作成件数	3 件	1 件
実利用者数	2 人	0 人
支援終了件数	1 件	1 件

② 居住支援団体等情報交換会の開催

住まいに課題を抱える生活困窮者の賃貸住宅への円滑な入居や入居後の支援体制の充実を図るため、情報交換会を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
7 月 31 日	・行政説明『居住支援を取り巻く環境』 説明者：岡山県土木部都市局住宅課 ・居住支援団体等情報交換会の充実強化について ・意見交換	赤磐市役所本庁	17 人

(4) 赤磐くらし・しごと応援団サポーター活動

① サポーター募集活動の実施

地域社会全体で生活困窮者支援を推進するため、サポーターの募集活動を行うとともに、多様な分野の関係者や市民の協力を得て、生活困窮者支援活動を実施しました。

内 容	令和 7 年度	前年度
食料支援サポーター	19 団体	13 団体
日用品等支援サポーター	6 団体	5 団体
就労支援サポーター	5 団体	5 団体
生活支援サポーター	6 団体	6 団体
ひきこもりサポーター	16 人	13 人
居住支援サポーター	4 団体	4 団体
その他サポーター	16 人	13 人

② 協力事業者ステッカーの作成・配布

新規登録団体に対し、協力事業者ステッカーを配布しました。

(5) 重層的支援体制整備事業調査研究事業

重点事業

① 相談機関連絡会の開催

各相談窓口で受けた相談が必要な支援につながるよう相談機関の連携促進を図ることを目的に、連絡会を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
10 月 20 日	・高齢者・障がい者何でも相談会の開催について ・意見交換 講師：堀川 涼子氏（美作大学社会福祉学科教授）	赤磐市役所本庁	12 人

② 相談窓口の体制及び機能強化に向けた検討

市町村域における包括的相談支援体制の構築が求められるなか、包括的な相談支援体制の充実に向けて調査研究を行うとともに、ひきこもり支援の取り組みを継続するための相談支援体制の強化や居住支援体制の強化に向けて政策提言を行いました。

③ 相談窓口ご案内チラシの作成・配布

複合的な課題を抱えるかたが必要な支援につながるよう、地域の身近な相談窓口に関する情報を一体的に提供するため、相談窓口案内チラシを配布しました。

2. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

県社協受託事業

低所得者、障害者又は高齢者に対し、経済的自立や生活意欲の助長促進等を図り、安定した生活を送れるよう、資金の貸し付けと必要な相談支援を行いました。

① 貸付相談及び償還指導の実施

・相談件数

資 金 の 種 類		令和 7 年度	前年度
総合支援資金		6 件	5 件
教育支援資金		4 件	3 件
福 祉 資 金	(福祉費)	15 件	29 件
	(緊急小口資金)	25 件	11 件
不動産担保型生活資金		3 件	0 件
そ の 他		0 件	0 件
合 計		53 件	48 件

・貸付件数

資 金 の 種 類		令和 7 年度	前年度
総合支援資金		408 件	427 件
教育支援資金		2 件	2 件
福 祉 資 金	(福祉費)	2 件	2 件
	(緊急小口資金)	162 件	191 件
不動産担保型生活資金		0 件	0 件
合 計		574 件	622 件

② 調査委員会の開催

実績なし

(2) 市町村社協相談支援体制強化推進事業

県社協受託事業

① 特例貸付借受人への相談支援の実施

特例貸付借受世帯へのフォローアップを通じて、支援が必要な世帯の洗い出しを行うとともに、必要な支援やつなぎを行いました。

内 容	令和 7 年度	前年度
相 談 件 数	904 件	1,078 件

3. 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

県社協受託事業

認知症高齢者や知的・精神障害者など判断能力が十分でないかたの在宅での生活を支援するため、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理サービス等を実施しました。

① 利用相談及びサービス提供の実施

・相談件数等

内 容		令和 7 年度	前年度
新規相談件数	(電話相談含む)	21 件	17 件
延 相 談 件 数	(電話相談含む)	1,253 件	1,503 件
契約締結件数		2 件	6 件
契約終了件数		7 件	4 件
実 利 用 者 数		18 人	23 人
支援実施件数		263 件	262 件

・生活支援員数

内 容	令和 7 年度	前年度
登 録 人 数	11 人	14 人
(内、雇用人数)	6 人	7 人

② 生活支援員研修会の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
3 月 10 日	講義・演習 『利用者に寄り添う相談支援の基本理解』 講師：美作大学講師 松尾 彰 氏	山陽総合福祉センター	14 人

③ その他

月 日	内 容	場 所	参加者数
8 月 7 日	岡山県運営適正化委員会実施状況調査	山陽総合福祉センター	6 人
3 月 13 日	赤磐市社会福祉協議会内部監査	山陽総合福祉センター他	6 人

4. ひきこもり者支援活動

(1) ひきこもり者等居場所活動

① 当事者の居場所づくり

ひきこもり者居場所づくりアドバイザーやひきこもりサポーターの協力を得て、ひるの居場所を開催しました（24 回・利用者延 87 人）。

② ひきこもり者居場所づくりアドバイザー設置事業

ひきこもり支援活動の実施体制を強化するため、ひきこもり者居場所づくりアドバイザーを設置し、ひるの居場所を運営するとともに、ひきこもりサポーターを養成しました。

③ ひきこもり者家族教室の開催

同じ悩みを持つ家族が気軽に集い、勉強したり話し合える場づくりを進めるため、専門職の協力を得て家族教室を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
6 月 18 日	・ 講話『親子のほどよい距離感って？』 ・ 交流会	山陽総合福祉センター	5 人
9 月 24 日	・ 講話『三重県ひきこもりに関する実態調査結果』 ・ 交流会		3 人
12 月 17 日	・ 講話『ひきこもり支援ハンドブック』 ・ 交流会		1 人
3 月 11 日	・ 講話『本人が動き出す時の支援』 ・ 交流会		6 人

(2) 生活困窮者就労訓練・体験事業

① 就労訓練・体験の場づくり

就労訓練事業や就労体験・訓練活動の P R や利用促進を図るため、事業所紹介シートを作成しました。

② ひきこもり者体験・訓練活動

関係機関・団体等との連携・協働のもと、ひきこもりサポーターや就労支援サポーターの協力を得て当事者の体験・訓練活動を実施しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
5 月 28 日	ボランティア体験 in あみかフルーツ	あみかフルーツ	4 人
7 月 2 日	職場体験会 in 岡山県立図書館	岡山県立図書館	—
9 月 25 日	ボランティア体験会 in 閑谷学校	閑谷学校	3 人
11 月 7 日	ボランティア体験会おかやまマラソン事前準備	シゲトアアリーナ岡山	3 人
1 月 20 日	ボランティア体験 in RCF	ルーラルカプリ農場	3 人

③ しごとサポート事業の協働実施

赤磐市社会福祉法人連絡会との協働のもと、すぐには一般就労に従事することが困難なかたに対し、就労訓練や機会を提供するため、就労訓練事業を実施しました（利用実績なし）。

④ 若者・中年層版人材センター（仮称）の開設に向けた調査研究事業【新】

就労困難者への就労支援の強化に向けて、就労的活動の場づくりや支援体制づくりなどについて調査研究を行うため、先進地視察や研修会を開催しました。

月 日	内 容	参加者数
6 月 26 日	・先進地視察『就労準備支援事業について』 (ワーカーズコープ・センター事業団)	2 人
8 月 20 日	・先進地視察『無料職業紹介事業について』 (岡山市社会福祉協議会)	2 人
10 月 2 日	・先進地視察『ちょいワーク&ゆにワークについて』 (岡山市支援付就労推進センター)	1 人
12 月 15 日	・生活困窮者支援研修会 講義『就労訓練や働く場づくり』 講師：ワーカーズコープ・センター事業団	11 人

(3) ひきこもりサポーターの養成・派遣事業

重点事業

① ひきこもりサポーター養成講座の開催

ひきこもりについての理解や支援の実践に必要な力量を高め、ひきこもり支援活動に協力していただけるサポーターを養成することを目的に、養成講座を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
12 月 4 日	・講演『サポステにおけるひきこもり支援』 講師：田主松克明氏（おかやま地域若者サポートステーション） ・実践報告『ひきこもりサポーターの活動報告』	山陽総合福祉センター	9 人

② ひきこもりサポーターの活動支援

ひきこもりに関する情報提供を行うとともに、当事者の体験・訓練活動の参加案内を行い、活動の機会や場を提供しました。また、サポーター活動の取り組みについて意見交換を行うため、瀬戸内市社会福祉協議会との共催により交流会を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
3 月 6 日	・ひきこもり支援の支援状況及び検討課題等について ・令和8年度サポーター活動について	山陽総合福祉センター	8 人

(4) ネットワークづくり事業

① ひきこもり支援検討会の開催

ひきこもり支援に係る活動やネットワーク構築等について協議を行うため、検討会を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
5 月 16 日	・ひきこもり支援の取組状況等について ・ひきこもり者支援活動の中期計画について	山陽総合福祉センター	11 人
12 月 10 日	・ひきこもり支援の取組状況等について ・ひきこもり者の支援ケースについて		11 人

(5) ひきこもり者支援活動のあり方に関する検討

① 行政関係部局との打ち合わせ

実績なし（ひきこもり支援検討会において、相談支援体制の強化に向けて検討を行いました）。

Ⅲ. 地域包括支援センター

1. 介護予防・生活支援サービス事業

(1) 通所付添事業のサポート

① 入浴サポーターの養成及び活動支援

生活支援コーディネーターと協力し、関係各所へサポーター募集のチラシを配布し、各サポーターの募集を行いました。また、入浴サポーターとして活動しているかたの声かけにより、1人の入浴サポーターが新規登録され、活動開始となりました。さらに、通所付添サポーター・入浴サポーター合同ミーティングへ毎月1回参加し、利用者の状況等、必要な情報共有や活動支援を行いました。

② 通所付添サポーターの養成及び活動支援

生活支援コーディネーターと協力し、関係各所へサポーター募集のチラシを配布し、各サポーターの募集を行いました。また、機会をとらえてサポーター募集の声かけを行いました。通所付き添いサポーターとして活動しているかたの声かけにより、2人の通所付き添いサポーターが養成講習を受講され、活動開始となりました。さらに、通所付添サポーター・入浴サポーター合同ミーティングへ毎月1回参加し、利用者の状況等、必要な情報共有や活動支援を行いました。

③ ①②の事業対象者へのケアプランの作成

介護予防対象者の人で自宅での入浴が困難な対象者へサービス内容を紹介し、ケアプランの作成を行いました。

2. 介護予防事業

(1) いきいき百歳体操の活動支援

重点事業

① いきいき百歳体操の集いの継続支援及び立ち上げ支援

5年継続表彰や体力測定などで会場訪問するとともに、民生委員会などにおいて「いきいき百歳体操」をPRし、新規立ち上げに向けて関係者などへの働きかけを継続しています。

新規会場	◆会場（馬屋片山・松木栄町・今井・円光寺・稲蒔・奥吉原）
登録会場数（令和8年3月31日現在）	86会場

※閉鎖：熊崎・桜が丘西1丁目（個人宅）・桜が丘西8丁目 の3会場

② 体力測定のサポート

10月から運動支援ボランティアと各会場の体力測定を実施し、参加者へアンケートを実施しました。

③ 世話役と運動支援ボランティアの連絡会

地 域	月 日	内 容	場 所	参加者数
山 陽 桜が丘東	7月30日	1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について 2) いきいき百歳体操の開催状況について 3) 世話役同士の交流（グループワーク）	山陽老人福祉センター	18人
	8月8日		中央図書館	45人
赤 坂	8月4日		赤坂健康管理センター	21人
熊 山	7月29日		熊山総合センター	11人
吉 井	7月25日		吉井支所	9人

※山陽は、世話役・ボランティアの順に各々で実施し、支所は合同で実施しました。

(2) 介護予防支援ボランティア養成事業の実施

① 介護予防支援ボランティア養成講座の開催

介護予防支援ボランティア（認知症予防支援ボランティア・運動支援ボランティア）の募集を行い、運動支援ボランティア14人、認知症予防支援ボランティア10人の申し込みがありました。

(合同講座①)

月 日	内 容	場 所
06 月 15 日	1) 認知症サポーター養成講座 2) 介護予防支援ボランティアの紹介 3) 自己紹介・レクリエーション	山陽老人福祉センター

(専門講座)

【認知症予防支援ボランティア】

月 日	内 容	場 所
06 月 23 日	「認知症の基礎と 5 か条」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学科 荒井 佐和子 氏	山陽老人福祉センター
06 月 27 日	「傾聴法と回想法」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学科 谷原 弘之 氏 荒井 佐和子 氏	
06 月 30 日	「グループワーク演習」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学科 谷原 弘之 氏 荒井 佐和子 氏	

【運動支援ボランティア】

月 日	内 容	場 所
06 月 12 日	「高齢者の身体機能の変化と健康維持について」 講師：岡山スポーツ会館 新田 瑞希 氏	山陽老人福祉センター
07 月 08 日	「いきいき百歳体操の動作確認①」 講師：岡山スポーツ会館 新田 瑞希 氏	
07 月 15 日	「いきいき百歳体操の動作確認②」 講師：岡山スポーツ会館 新田 瑞希 氏	

(合同講座②)

月 日	内 容	場 所
07 月 24 日	1) 寸劇（赤坂地域認知症予防支援ボランティア） 2) 講話「今日からあなたもボランティア ～安心して過ごせるまちづくりのためにできること～」 講師：赤磐市社会福祉協議会 地域福祉課 東本 貴将 氏 3) グループワーク 「自分の住んでいる地域で私たちにできること」	山陽老人福祉センター

② 介護予防支援ボランティア（運動支援・認知症予防支援ボランティア）の活動支援

【認知症予防支援ボランティアについて】

(代表者会議)

各地域のボランティアの活動に関する情報交換などを行うとともに、話し合いを行いました。

月 日	内 容	場 所	出席者数
06 月 16 日	1) 各地域の活動報告 2) 今年度の活動、フォローアップ研修、合同研修会について、他事業への協力依頼	赤磐市役所 本庁	8 人
02 月 26 日	1) 各地域の活動報告 2) 本人ミーティング、チームオレンジ等について 3) 来年度の活動について		6 人

(連絡会)

地域別に連絡会を開催し、各地域の実情にあわせて、地域ごとの認知症予防支援ボランティアの活動の充実が図れるよう話し合いを行いました。

地域	月 日	内 容	会 場	出席者数
山陽	6月19日	1) 代表者会議の報告について 2) 認知症関連事業紹介 3) 介護予防支援ボランティアについて	山陽老人福祉センター	12人
	3月12日	※さんさんカフェに参加しなかったボランティアについては書面にて送付 1) 代表者会議の報告について 2) 認知症関連事業について 3) 来年度の活動について		13人
赤坂	6月11日	さんさんカフェ開催について等	赤坂健康管理センター	11人
	10月23日			9人
	12月18日			9人
	3月26日	1) 赤坂地域認知症予防支援ボランティアの活動について 2) 令和8年度 赤坂地域認知症予防支援ボランティア代表者について		10人
熊山	6月04日	1) さんさんカフェの計画について 2) さんさんカフェ通信の作成について	熊山総合センター	05人
	10月08日	1) さんさんカフェについての打ち合わせ等		05人
	3月03日	1) さんさんカフェについて 2) 来年度の活動について等		04人
吉井	5月12日	1) 今年度の事業について 2) 通信（チラシ）の内容について等	吉井支所	07人
	1月16日	1) さんさんカフェの計画について		05人
	3月19日	1) 今年度の振り返り 2) 来年度の活動について等		07人

(フォローアップ研修)

月 日	内 容	会 場	参加者数
12月19日	認知症予防支援ボランティア フォローアップ研修 「これからの認知症予防支援ボランティアさんに期待されること」 講師：川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科 谷原 弘之 氏 荒井 佐和子 氏	赤磐市役所 本庁	29人

(合同研修会)

いきいき百歳体操の世話役と介護予防支援ボランティアとの交流会を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
2月18日	1) 講話「笑いヨガ～元気に笑って長生き・コミュニケーションでつながる地域づくり～」 (一社) 笑いヨガ協会・代表理事 万代京央子 氏 2) グループワーク他 一体化について、交流の工夫や心がけについて	山陽老人福祉センター	81人

(その他の活動支援)

地 域	内 容
全 域	オレンジ劇団による認知症啓発のための寸劇活動
山陽地域	チームオレンジ立ち上げ支援
赤坂地域	さんさんカフェの企画・運営
熊山地域	さんさんカフェ通信の発行
吉井地域	認知症予防支援ボランティア通信の発行 介護予防支援ボランティア養成講座にて寸劇

【運動支援ボランティアの活動支援】

(代表者会議)

月 日	内 容	場 所	参加者数
06 月 24 日	1) 各地域の運動支援ボランティアの活動について 2) 今年度の運動支援ボランティアの研修について	赤坂健康管理センター	4 人
01 月 29 日	1) 今年度の活動の振り返り 2) 今後の活動について等		6 人

(連絡会) … 世話役と合同で実施 ※28 頁 (1) -③に記載

(フォローアップ研修)

月 日	内 容	場 所	参加者数
11 月 19 日	運動支援ボランティア フォローアップ研修 「運動がもたらす脳への効果」 講師：NCA プロフェッショナルコンディショニングトレーナー 小松松三郎 氏	山陽老人福祉センター	56 人

(3) 認知症予防事業の実施

① 認知症予防教室（脳イキイキ☆認知症予防教室）の開催

開催月等	内 容	場 所	受講申込者数
全 6 回 9 月～12 月	「人との交流について」 講師：地域福祉課 生活支援コーディネーター 「脳活性化運動①②」 講師：NCA コンディショニングインストラクター 小松 千鶴 氏 「介護予防に関する講話（栄養、口腔）」 講師：赤磐医師会病院 管理栄養士 伊藤 陽子氏 岡山県歯科衛生士会 柴田 恵子 氏 「音楽を使った認知症予防」 講師：音楽講師 小堀 佳代子 氏 「回想法」担当：認知症予防支援ボランティア 「かみかみ百歳体操」担当：運動支援ボランティア	山陽老人福祉センター	34 人

② 新たな通いの場の活動支援

熊山地域では、脳イキイキ☆認知症予防教室終了後、同窓会として実施されていた自主活動を、地域住民が誰でも参加可能な認知症カフェとしての開催に向け、再編に向けた活動支援を行いました。

(4) 介護予防活動に関する普及啓発

① 介護予防出前講座の実施

月 日	内 容	場 所	参加者数
5 月 19 日	フレイル予防について	沼田コミュニティハウス	22 人
6 月 18 日	熱中症予防について	草生コミュニティハウス	13 人
6 月 18 日	介護保険制度について	桜が丘東 4 丁目集会所	35 人
6 月 19 日	地域包括支援センターについて	桜が丘西 6 丁目集会所	30 人
7 月 9 日	老年期うつ対策、 介護保険制度について	桜が丘東 6 丁目集会所	30 人
2 月 27 日	介護保険制度について	桜が丘西 10 丁目集会所	11 人

② 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業に関する調整【新】

健康増進課に協力し、集いの場等への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）として、健康教育・健康相談、フレイル状態の把握のための会場調整や会場への同行訪問などを行ないました。

【健康教育・健康相談】百歳体操・サロン等 63 地区 延べ 888 人
サロン等 12 地区 13 回 延べ 243 人

3. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

① 高齢者が抱える多種多様な生活課題に対する相談及び支援・対応（総合相談件数）（単位：件）

内 容	本 庁	赤坂分室	熊山分室	吉井分室	合 計
介護相談	1,747	311	593	295	2,946
福祉相談	29	4	28	114	175
介護予防	20	70	15	173	278
認知症	199	20	15	94	328
健康医療	94	6	34	60	194
権利擁護・虐待	71	13	18	20	122
その他	94	167	167	10	438
合 計	2,254	591	870	766	4,481

② 高齢者の実態把握（実態把握件数）

内 容	令和7年度
実態把握（訪問件数）	23 件

③ 地域におけるネットワークの構築

ネットワーク構築のため、関係機関・各種団体等の会議に参加し、話し合い等を通じて連携強化に努めました。

(2) 権利擁護事業

重点事業

① 赤磐市中核機関における一次相談窓口としての機能強化

赤磐市が設置する中核機関の一次相談窓口として、成年後見制度に関する相談や利用促進に向けた支援等を行いました。

（成年後見制度に関する相談支援件数）

内 容	令和7年度
成年後見制度の活用に係る相談支援等の件数	79 件

② 成年後見制度の利用促進に向けた権利擁護研修会の開催・啓発活動

成年後見制度の利用促進を図るため、住民向け権利擁護研修会を開催しました。

（前期）

月 日	内 容	講 師	場 所	参加者数
第1回 8月26日	現場から伝える成年後見制度 ～知っておきたいこれからのこと～	岡山県社会福祉士会所属 武内 俊樹 氏	山陽 老人福祉 センター	8 人
第2回 9月2日				4 人

（後半）

月 日	内 容	講 師	場 所	参加者数
第1回 11月（8日）	公証人が語る 今から考えるこれからのこと （任意後見・遺言・相続・死後事務委任・信託）	岡山公証 センター公証人 難波 宏 氏	桜が丘 いきいき交流 センター	12 人

③ 高齢者虐待に関する相談受付及び対応

高齢者虐待の窓口として、相談や通報を随時受け付け、訪問や聞き取り、関係機関との連携による事実確認と、必要に応じた介入を行い、虐待の防止と再発予防に取り組んでいます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

① 介護支援専門員に対する相談及び支援対応

居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの相談をうけ、互いに連携をしながら高齢者支援にあたりました。また、地区担当が個別の介護支援専門員のサポートにあたる際には、幅広い知識や経験が必要となるため、必要に応じて3職種が連携を図りながら対応にあたりました。

内 容	令和7年度
介護支援専門員等に対する個別相談・支援	281 件

② 介護支援専門員代表者会議の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
5 月 14 日	1) 今年度の研修会について 2) 第1回 全体会（法定外研修）について等	山陽総合福祉センター	9 人
11 月 14 日	1) 第2回 地域別連絡会について 2) 第2回 研修会（事例検討会）について等		7 人

③ 介護支援専門員連絡会・研修会の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
9 月 11 日	第1回 赤磐市介護支援専門員連絡会 （法定外研修） 1) 「災害時机上訓練 ～利用者を守る力をみなで考える～」 講師：坂本 泰利 氏	赤磐市役所 本庁	37 人
1 月 20 日	民生委員とケアマネジャーとの情報交換会	吉井支所	34 人
1 月 27 日		熊山総合センター	42 人
3 月 18 日	第2回 赤磐市介護支援専門員連絡会 （法定外研修） 1) 「対人援助におけるクライアント理解」 （事例検討） 講師：田中 郁子 氏 2) 地域個別ケア会議について等	赤磐市役所 本庁	31 人

4. 生活支援体制整備事業

(1) 生活支援サポーター養成事業の実施

① 生活支援サポーター養成研修の開催

月 日	内 容	場 所	受講者数
第1回 8 月 27 日	1) 赤磐市の介護保険の現状と生活支援サービスの必要性 2) 高齢者の特徴と注意点及び対応について	赤坂健康管理センター	6 人
第2回 9 月 3 日	1) 生活支援サポーターとしてのマナー 2) 緊急時の対応について		
第3回 9 月 10 日	1) 食中毒予防についてなど 2) 介護保険サービスの流れと支え合い訪問サービスの概要と流れ		

5. 認知症総合支援事業

(1) 認知症相談支援体制の整備

重点事業

① 認知症カフェの開催

認知症予防支援ボランティアと協働し、さまざまな高齢者が集える場として、「さんさんカフェ」（認知症カフェ）を定期的に開催するとともに、これまで控えていた参加者同士の積極的な交流を図ることを目指し、山陽地域以外で「さんさんカフェ」が開催できるよう、企画・運営を進めています。

月 日	内 容	場 所	参加者数
4月17日	前原氏のギター演奏、フリータイム	山陽老人福祉センター	23人
5月15日	認知症かるた	ケアハウス桃香	38人
6月19日	防災講座	山陽老人福祉センター	30人
7月17日	ハーモニカ演奏、パラコード作り、プチ講座		21人
7月20日	歌（大正琴に合わせて）	竜天くつし夢の里会館	34人
7月30日	ボランティアによるクイズ、ビンゴゲーム	西軽部公民館	63人
8月21日	プチ講座、フリータイム	山陽老人福祉センター	21人
9月18日	プチ講座、終活講座、フリータイム		26人
10月16日	脳トレ体操、フリータイム		19人
11月20日	前原氏のギター演奏	ケアハウス桃香	40人
12月2日	歌（大正琴に合わせて）	グループホーム 和楽の家 吉井	8人
12月11日	脳トレ体操、フリータイム	山陽老人福祉センター	25人
1月15日	ビンゴゲーム、篠笛、フラダンス		44人
2月19日	終活講座		26人
2月27日	語り部、歌（大正琴にあわせて）	パインスクエア	7人
3月12日	あかいわ三曲協会 箏・尺八体験	山陽老人福祉センター	29人
3月18日	歌・脳トレ体操・レクリエーション・談笑	熊山総合センター	33人

② 本人ミーティングの開催

※（ ）内は家族の参加者数

月 日	内 容	場 所	参加者数
7月10日	本人・家族の話	キャプテン（喫茶店）	3人（3人）
10月2日		ハートフル太陽	3人（4人）
1月21日	食事会、本人・家族の話	山陽老人福祉センター	2人（3人）
3月27日	花見、本人・家族の話		4人（3人）

③ 認知症地域支援推進員研修への職員派遣

認知症施策の充実が図れるよう、認知症地域支援推進員研修（新任者研修）を1名受講し、推進員を2人としました。また、地域包括支援センター職員をその他関連の研修へ派遣を行いました。

④ 認知症初期集中支援チーム員会議の開催

月 日	内 容	場 所
6月30日	支援計画及び支援内容についての検討 （新規1事例・評価1事例）	赤磐市役所 本庁
9月29日		
12月15日		
3月13日		

6. 地域ケア会議推進事業

(1) 地域ケア個別会議（自立支援型及び困難事例検討会議）の開催

主に要支援者等の自立支援ケアマネジメント促進に向けた支援のあり方を検討する「自立支援型」と支援に困難を抱える事例を検討する「困難事例検討会議」を開催しました。

種 別	開催回数	検討した事例数	検討内容
地域ケア個別会議 【自立支援型】	12 回	新規検討事例：24 事例 評価報告事例：21 事例	1) 利用者の自立支援について 2) 事例を通して考えられる地域課題について
困難事例検討会議	4 回	新規検討事例：4 件	1) さまざまな困難を抱える事例の 相談支援について 2) 支援者が困難を感じている事例 について

(2) 新しい社会資源の創出に向けたニーズの把握

上述の地域ケア個別会議では、地域の医療・介護関係者をアドバイザーとして話し合いを進め、問題解決に努めるとともに、地域の高齢者が抱える課題の把握を行い、社会資源の開発、情報交換に力を入れ、検討しました。

7. 任意事業

(1) 家族介護支援事業の実施

① 介護教室の開催

在宅等で介護するかたや介護に関心のあるかたを対象に、介護に関する知識や技術の習得、介護者自身の健康維持を目的とした「介護教室」を定期的に企画し、開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
6 月 13 日	「福祉用具体験会」 講師：株式会社トーカイ 大西 裕太 氏	中央図書館	14 人
9 月 4 日	「高齢者のための栄養講座」 講師：赤磐市健康増進課 管理栄養士 佐々木 氏、 栄養委員		13 人
12 月 17 日	「耳の聞こえの相談会」 講師：株式会社 Audika 岡山店 小崎 達哉 氏、伊藤 鮎美 氏	山陽老人福祉 センター	5 人
3 月 13 日	「知っているとちょっと安心する認知症のはなし」 講師：岡山大学病院 認知症看護認定看護師 三牧 好子 氏	中央図書館	41 人

② 介護者相談会

今年度より、山陽地域の認知症カフェ「さんさんカフェ」の中で相談場所を設置し、カフェ中に随時相談ができる体制にしました。

(2) 認知症サポーター等養成事業

① 認知症サポーター養成講座の開催

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成するために、認知症サポーター養成講座を開催しました。

月 日	対 象 者	受講者数
5 月 11 日	河本地区老人クラブ	45 人
6 月 5 日	介護予防支援ボランティア（11 期生）	15 人
7 月 25 日	山陽寿荘の職員	11 人
8 月 18 日	釣井地区ふれあいサロン	12 人
11 月 17 日	桜が丘西 3 丁目の住民	17 人

月 日	対 象 者	受講者数
11 月 18 日	山陽寿荘の近隣住民、入所者家族	13 人
12 月 10 日	赤磐市役所職員	14 人
12 月 17 日		14 人
3 月 9 日	ゆめモール山陽従業員	5 人

② キャラバン・メイト連絡会の開催及び活動支援

月 日	内 容	場 所	参加者数
9 月 29 日	1) 今年度の活動について 2) グループワーク	赤磐市役所 本庁	14 人

③ チームオレンジ設置に向けた検討

チームオレンジ設置に向けて沼田地区のいきいき百歳体操の会場に出向いて説明会を行い、認知症の当事者も含めてみんなが安心して通えるような居場所づくりを目指していきました。

また、地域包括支援センター職員全員がチームオレンジに関する研修を受講し、今後地域へ広げていくチームオレンジの設置に向けて進めています。

(設置に向けた座談会)

月 日	内 容	場 所	参加者数
9 月 3 日	・チームオレンジについて	沼田コミュニ ティハウス	6 人
3 月 9 日	・チームオレンジの立ち上げに向けての進め方 について		6 人

(職員研修)

月 日	内 容	形 式	参加者数
3 月 17 日	チームオレンジ研修	オンライン	7 人

(3) 成年後見制度利用支援事業

① 市民後見人養成講座の開催

今年度は市と協議した結果、市民後見人養成講座の開催を見送りました。

② 市民後見人連絡会の開催及び活動支援

月 日	内 容	場 所	参加者数
7 月 25 日	市民後見人連絡会 1) 令和 6 年度 市民後見人養成事業実施報告 2) 令和 7 年度 事業実施計画について	山陽総合福祉 センター	6 人
9 月 4 日	成年後見制度啓発活動 (施設・店舗入口にて来客者にチラシ等を配布)	ゆめモール山陽他	3 人
12 月 23 日	市民後見人・生活支援員合同研修 「利用者に寄り添う相談支援の基本理解」	山陽総合福祉 センター	4 人

8. 地域包括支援センターの業務を担う専門的人材の育成

(1) 職員の専門性の向上に向けた各種研修会への派遣

職員の専門的技術や知識・向上のため、内部研修を定期的 to 実施するとともに、外部研修への派遣を行いました。

区 分	研 修 内 容
内部研修	職員専門研修 虐待防止研修について BCP研修・感染予防について 等
外部研修	相談援助技術研修 高齢者虐待対応現任者研修 認知症地域支援推進員研修 チームオレンジ研修等

(2) 各専門職の職能を活かせる業務の在り方についての検討

業務分担及び地区分担について検討し、センターの業務体制の整備に努めました。

9. 介護予防支援事業

(1) 介護予防支援事業所の運営

(平均利用者数と合計利用者数)

(単位：人)

事業所	類 型	令和 7 年度		前年度	
		月平均	年合計	月平均	年合計
地域包括支援センター	介護予防支援	192	2,307	206	2,468
	介護予防ケアマネジメントA	73	874	75	898
	介護予防ケアマネジメントB	8	91	9	109
	小計 (①)	273	3,272	290	3,475
委託先事業所	介護予防支援	158	1,897	120	1,437
	介護予防ケアマネジメントA	34	405	27	328
	介護予防ケアマネジメントB	0	0	0	4
	小計 (②)	192	2,302	147	1,769
全 体	合 計 (①+②)	465	5,574	437	5,244



IV. 介護保険課

1. 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

重点事業

事業概要	ケアプランの作成
------	----------

◆あかいわ社協居宅介護支援事業所の運営

所在地	赤坂福祉サービスセンター「春の家」 赤磐市町苅田 517 番地 1
事業形態	指定管理

① 介護予防・日常生活支援総合事業（単位：人）

市受託事業

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	ケアマネ1人あたりの担当件数 9.5 名/月	
要支援 1	11	11	11	11	11	10	65		
要支援 2	18	17	16	16	17	17	101		
月計	29	28	27	27	28	27	166		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
要支援 1	11	13	13	9	9	9	64	129	93
要支援 2	19	19	18	20	18	18	112	213	117
月計	30	32	31	29	27	27	176	342	210

原案作成委託料：1,585,220 円

② 居宅介護支援事業（単位：人）

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	ケアマネ1人あたりの担当件数 36.5 名/月	
要介護 1	46	46	45	43	43	42	265		
要介護 2	35	33	34	34	35	36	177		
要介護 3	17	18	17	20	20	20	112		
要介護 4	10	8	10	9	7	11	55		
要介護 5	4	4	5	5	3	3	24		
月計	112	109	111	111	108	112	633		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
要介護 1	41	38	39	39	36	37	230	495	431
要介護 2	40	39	40	41	37	37	234	411	388
要介護 3	20	24	23	20	20	19	126	238	231
要介護 4	11	11	13	13	13	12	73	128	77
要介護 5	3	3	3	3	3	4	19	43	30
月計	115	115	118	116	109	109	682	1,315	1,157

介護給付費：20,565,940 円

③ あかいわ社協居宅介護支援事業所の経営安定に向けた各種加算の継続取得

特定事業所加算（Ⅲ） 323 単位/月

④ 介護支援専門員の育成（各種研修への派遣）

43 頁から 44 頁に記載

⑤ あかいわ社協居宅介護支援事業所の経営安定に向けた利用者の確保

ケアマネジャー1人当たりの担当件数

	ケアマネ1人当たりの担当件数	要介護 1・2	要介護 3・4・5	要支援 1・2
目標	45 件/月	28 件	8 件	90 件
実績	46.0 件/月	25.2 件	11.4 件	9.5 件

(2) 通所介護事業

重点事業

事業概要	施設での入浴や食事提供、健康チェック、機能訓練など日帰りのサービスを提供
------	--------------------------------------

◆山陽デイサービスセンターの運営

所在地	山陽総合福祉センター 赤磐市河本 778 番地 1
事業形態	指定管理

1) 介護予防・日常生活支援総合事業（単位：人）

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	平均利用者数 6.4 人/日 *月 20 日として	
要支援 1	51 (12)	53 (14)	56 (16)	68 (15)	49 (13)	43 (12)	320 (82)		
要支援 2	71 (12)	80 (13)	80 (13)	72 (13)	66 (12)	77 (13)	446 (76)		
月計	122 (24)	133 (27)	136 (29)	151 (28)	115 (25)	116 (25)	766 (158)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
要支援 1	46 (12)	39 (12)	38 (11)	30 (9)	29 (8)	26 (7)	208 (59)	528 (141)	495 (130)
要支援 2	101 (15)	94 (15)	86 (15)	97 (16)	83 (14)	99 (15)	560 (90)	1,006 (166)	825 (132)
月計	147 (27)	133 (27)	124 (26)	127 (25)	112 (22)	125 (22)	768 (149)	1,534 (307)	1,320 (262)

介護予防・日常生活支援総合事業費：7,225,960 円

2) 通所介護事業（単位：人）

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	平均利用者数 29.9 人/日 *月 20 日として	
要介護 1	352 (30)	362 (30)	310 (27)	377 (30)	376 (32)	361 (30)	2,138 (179)		
要介護 2	109 (10)	89 (10)	103 (11)	102 (12)	86 (11)	124 (11)	613 (65)		
要介護 3	59 (8)	61 (7)	87 (9)	122 (10)	100 (10)	84 (8)	513 (52)		
要介護 4	79 (5)	79 (5)	53 (4)	48 (4)	50 (4)	48 (4)	357 (26)		
要介護 5	15 (2)	13 (2)	16 (2)	9 (1)	7 (1)	3 (1)	63 (9)		
月計	614 (55)	604 (54)	569 (53)	658 (57)	619 (58)	620 (54)	3,684 (331)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
要介護 1	415 (33)	371 (33)	352 (31)	341 (30)	287 (27)	315 (27)	2,081 (181)	4,219 (360)	4,933 (430)
要介護 2	136 (12)	114 (11)	113 (11)	110 (11)	115 (11)	118 (11)	706 (67)	1,319 (132)	1,161 (125)
要介護 3	093 (8)	81 (7)	90 (9)	91 (8)	81 (9)	108 (9)	544 (50)	1,056 (101)	818 (87)
要介護 4	031 (2)	28 (2)	25 (2)	32 (3)	28 (2)	31 (2)	155 (13)	512 (39)	544 (41)
要介護 5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	63 (9)	192 (27)
月計	675 (55)	594 (53)	580 (53)	574 (52)	511 (49)	572 (49)	3,486 (311)	7,169 (641)	7,648 (710)

介護給付費：52,699,240 円

◆春の家デイサービスセンターの運営

所 在 地	赤坂福祉サービスセンター「春の家」 赤磐市町苅田 517 番地 1
事業形態	指定管理

1) 介護予防・日常生活支援総合事業（単位：人）

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	平均利用者数 4.3 人/日 *月 20 日として	
非該当	1 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)		
要支援 1	23 (6)	28 (7)	24 (7)	34 (7)	29 (8)	31 (8)	169 (43)		
要支援 2	38 (5)	54 (7)	50 (7)	61 (8)	54 (8)	53 (8)	310 (43)		
月計	62 (12)	85 (15)	74 (14)	95 (15)	83 (16)	84 (16)	483 (88)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
非該当	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)
要支援 1	27 (6)	24 (8)	24 (7)	28 (8)	31 (8)	28 (7)	162 (44)	331 (87)	174 (44)
要支援 2	58 (7)	58 (8)	59 (8)	66 (9)	71 (9)	75 (10)	387 (51)	697 (94)	429 (58)
月計	85 (14)	82 (16)	83 (15)	94 (17)	102 (17)	103 (17)	549 (96)	1,032 (184)	603 (102)

介護予防・日常生活支援総合事業費：4,657,390 円

2) 通所介護事業（単位：人）

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	平均利用者数 21.6 人/日 *月 20 日として	
要介護 1	227 (23)	228 (23)	207 (22)	210 (20)	174 (19)	191 (18)	1,237 (125)		
要介護 2	143 (12)	135 (10)	161 (13)	155 (11)	141 (12)	146 (10)	881 (68)		
要介護 3	27 (3)	47 (5)	46 (4)	65 (6)	67 (7)	68 (7)	320 (32)		
要介護 4	34 (2)	32 (2)	37 (3)	42 (4)	39 (4)	41 (4)	225 (19)		
要介護 5	21 (1)	22 (1)	21 (1)	22 (1)	21 (1)	22 (1)	129 (6)		
月計	452 (41)	464 (41)	472 (43)	494 (42)	442 (43)	468 (40)	2,792 (250)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
要介護 1	192 (17)	159 (15)	161 (15)	169 (15)	155 (15)	179 (15)	1,015 (92)	2,252 (217)	2,097 (225)
要介護 2	158 (11)	114 (10)	118 (10)	106 (10)	95 (8)	84 (6)	675 (55)	1,556 (123)	2,122 (202)
要介護 3	59 (6)	68 (8)	49 (5)	50 (6)	42 (4)	43 (4)	311 (33)	631 (65)	748 (63)
要介護 4	38 (3)	40 (4)	56 (6)	47 (4)	47 (4)	52 (4)	280 (25)	505 (44)	430 (41)
要介護 5	22 (1)	20 (1)	20 (1)	20 (1)	19 (1)	10 (1)	111 (6)	240 (12)	127 (10)
月計	469 (38)	401 (38)	404 (37)	392 (36)	358 (32)	368 (30)	2,392 (211)	5,184 (461)	5,524 (541)

介護給付費：37,889,046 円

- ① 山陽デイサービスセンターの経営安定に向けたサービス提供体制の見直し
サービス提供時間の変更の検討
- ② 春の家デイサービスセンターの経営安定に向けたサービス提供体制の見直し
個別機能訓練加算（Ⅰ）ロの取得の検討
- ③ 利用状況に応じた適切な人員配置
パートタイム職員の勤務調整
- ④ 利用者等利用料の見直し
食費
居宅介護サービス利用料（喫茶・紙パンツ・行事代など）

（３）訪問介護事業

重点事業

事業概要	訪問介護員（ヘルパー）が家庭を訪問し、生活援助（調理、掃除、洗濯など）や身体介護（排泄、食事、入浴介助など）の援助を行う
------	--

◆あかいわ社協ホームヘルプステーションの運営

所在地	本体事業所	赤坂福祉サービスセンター「春の家」 赤磐市町荊田 517 番地 1
	サテライト	さんようサテライト事業所 赤磐市河本 778 番地 1
		吉井サテライト事業所 赤磐市周匝 136 番地
事業形態	指定管理	

① 介護予防・日常生活支援総合事業（単位：人）

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	ヘルパー 1 人当たり訪問件数 0.7 件/日 * 常勤換算（7 人）	
事業対象	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
要支援 1	50 (11)	42 (9)	41 (9)	44 (10)	43 (11)	49 (12)	269 (62)		
要支援 2	100 (20)	108 (20)	107 (19)	117 (19)	97 (17)	98 (17)	627 (112)		
月計	150 (31)	150 (29)	148 (28)	161 (29)	140 (28)	147 (29)	896 (174)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
事業対象	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)
要支援 1	47 (10)	47 (13)	46 (12)	60 (13)	55 (13)	64 (13)	319 (74)	588 (136)	420 (99)
要支援 2	109 (17)	95 (18)	112 (19)	117 (21)	113 (20)	104 (18)	650 (113)	1,277 (225)	1,266 (228)
月計	156 (28)	142 (31)	158 (31)	177 (34)	168 (33)	168 (31)	969 (188)	1,865 (362)	1,702 (329)

介護予防・日常生活支援総合事業費：5,778,290 円

② 訪問介護事業 (単位: 人)

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	ヘルパー1人当たり訪問件数 2.1件/日 *常勤換算(7人)	
要介護1	128 (17)	146 (19)	177 (21)	206 (23)	188 (23)	181 (23)	1,026 (126)		
要介護2	113 (9)	147 (10)	130 (12)	147 (14)	156 (15)	178 (15)	871 (75)		
要介護3	21 (5)	14 (3)	12 (2)	5 (1)	4 (1)	3 (1)	59 (13)		
要介護4	41 (3)	108 (3)	122 (4)	110 (3)	29 (2)	55 (3)	465 (18)		
要介護5	33 (1)	47 (1)	45 (2)	17 (2)	9 (1)	9 (1)	160 (8)		
月計	336 (35)	462 (36)	486 (41)	485 (43)	386 (42)	426 (43)	2,581 (240)		
提供月 区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間	前年度
要介護1	196 (23)	186 (23)	175 (21)	154 (20)	146 (19)	129 (16)	986 (122)	2,012 (248)	1,673 (202)
要介護2	193 (16)	160 (15)	153 (14)	135 (14)	113 (13)	210 (17)	964 (89)	1,835 (164)	1,207 (77)
要介護3	33 (2)	56 (3)	62 (3)	49 (2)	50 (2)	56 (2)	306 (14)	365 (27)	346 (38)
要介護4	56 (3)	57 (3)	61 (3)	60 (4)	62 (4)	76 (4)	372 (21)	837 (39)	461 (55)
要介護5	9 (1)	0 (0)	8 (1)	5 (1)	15 (1)	33 (2)	70 (6)	230 (14)	56 (2)
月計	487 (45)	459 (44)	459 (42)	403 (41)	386 (39)	504 (41)	2,698 (252)	5,279 (492)	3,743 (374)

介護給付費: 16,932,094円

③ あかいわ社協ホームヘルプステーションの経営安定に向けたサービス提供体制の見直し

過疎(赤坂・吉井)地域に限定したサービス提供への検討
訪問介護員の平均訪問件数1日4件

④ 訪問介護員の確保

登録ヘルパーの募集

応募件数	0件
------	----

2. 障害者総合支援法による居宅サービス提供事業

(1) 居宅介護事業

事業概要	訪問介護員(ヘルパー)が家庭を訪問し、生活援助(調理、掃除、洗濯など)や身体介護(排泄、食事、入浴介助など)の援助を行う
------	--

◆あかいわ社協ホームヘルプステーション(居宅介護)の運営

所在地	本体事業所	赤坂福祉サービスセンター「春の家」 赤磐市町苅田 517 番地 1
	サテライト	さんようサテライト事業所 赤磐市河本 778 番地 1
		吉井サテライト事業所 赤磐市周匝 136 番地

① 居宅介護事業 (単位: 人)

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	ヘルパー1人当たり訪問件数 0.2件/日 *常勤換算(7人)	
月計	49 (10)	44 (8)	46 (9)	57 (9)	51 (10)	42 (9)	289 (55)		
提供月 区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間	前年度
月計	47 (9)	43 (8)	45 (10)	42 (9)	38 (8)	42 (9)	257 (53)	546 (108)	593 (112)

障害福祉サービス費: 2,430,156円

(2) 基準該当生活介護事業

事業概要	施設での入浴や食事提供、健康チェック、機能訓練など日帰りのサービス提供
------	-------------------------------------

◆山陽デイサービスセンターの状況

所在地	山陽総合福祉センター 赤磐市河本 778 番地 1
-----	---------------------------

① 基準該当生活介護 (単位: 人)

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	平均利用者数 0.8 人/日 *月 20 日として	
月計	16 (3)	17 (3)	16 (3)	17 (3)	16 (3)	16 (3)	98 (18)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
月計	17 (3)	14 (3)	15 (3)	11 (3)	15 (3)	17 (3)	89 (18)	187 (36)	187 (33)

障害福祉サービス費：1,345,690 円

◆春の家デイサービスセンターの状況

所在地	赤坂福祉サービスセンター「春の家」 赤磐市町苅田 517 番地 1
-----	-----------------------------------

① 基準該当生活介護 (単位: 人)

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	平均利用者数 0.8 人/日 *月 20 日として	
月計	16 (2)	16 (2)	17 (2)	18 (2)	16 (2)	18 (2)	101 (12)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
月計	17 (2)	16 (2)	16 (2)	16 (2)	16 (2)	18 (2)	99 (12)	200 (24)	117 (17)

障害福祉サービス費：1,424,300 円

3. 市受託事業

市受託事業

(1) 地域生活支援事業

事業概要	屋外での移動に支援が必要な障害者の社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等、社会参加の支援の充実
------	--

① 移動支援事業 (単位: 人)

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期	—	
月計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
月計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)

移動支援給付費：0 円

4. 独自事業

(1) 生活サポートあんど事業 (自費ヘルパー)

事業概要	介護保険法等によるサービスを補完し、在宅での生活を継続できるよう、自立支援・介護予防の観点に立って独自のホームヘルプサービスを提供
------	---

① あんど事業（単位：人）

[表内の数値は延べ人数/括弧内の数値は実人数を表示]

提供月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期		
非該当	0 (0)	4 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	7 (3)		
要介護 1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
要介護 2	13 (1)	13 (1)	13 (1)	16 (1)	19 (2)	18 (2)	92 (8)		
要介護 3	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
要介護 4	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
要介護 5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
月計	13 (1)	17 (2)	13 (1)	17 (2)	21 (3)	18 (2)	99 (11)		
提供月 区分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	下半期	年間	前年度
非該当	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	8 (4)	0 (0)
要介護 1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	12 (3)
要介護 2	16 (2)	14 (1)	14 (1)	14 (1)	14 (1)	15 (1)	87 (7)	179 (15)	56 (18)
要介護 3	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	7 (3)
要介護 4	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
要介護 5	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
月計	16 (2)	16 (3)	14 (1)	14 (1)	17 (2)	15 (1)	92 (10)	191 (21)	75 (24)

利用料：191,250 円

②生活あんど拡充検討

登録ヘルパーの確保が難しく、拡充対応できないため、検討なし

5. 事業所運営

(1) 事業所間の連携強化

① 管理者全体会の開催（毎月）

開催日	会議名等	主な内容等
4 月 17 日	管理者全体会	- 運営状況の報告及び分析 - 運営上の課題について
5 月 15 日		
6 月 12 日		
7 月 17 日		
8 月 25 日		
9 月 18 日		
10 月 15 日		
11 月 11 日		
12 月 17 日		
1 月 15 日		事業所の閉鎖・縮小に向けて
2 月 27 日		
3 月 19 日		

(2) 介護保険等事業部会の開催

重点事業

① 継続的な在宅サービス提供に向けた検討

開催日	会議名等	主な内容等
7月25日	第1回介護保険等事業部会	①介護保険等事業の実施について ②介護保険等事業の経営判断について
11月6日	第2回介護保険等事業部会	①介護保険等事業の方向 ②令和9年度介護保険等事業の実施について
2月16日 (書面協議)	第3回介護保険等事業部会	①令和7年度介護事業の資金収支決算見込み ②介護保険事業所閉鎖までのスケジュール(案) ③市内事業所への受入可能調査の実施について

(3) 人材育成／目標・キャリアパスを描きやすい仕組みづくり

① 各事業所の年間研修計画の作成・実施

1) あかいわ社協居宅介護支援事業所

開催日	会議名等	場 所
7月17日	第1回生活困窮者支援スーパービジョン	赤坂公民館
8月5日	第1回赤磐医師会病院と在宅医療・介護関係者連絡会	赤磐医師会病院
8月12日	東備支部報告会・研修会	和気鶴飼谷温泉
8月20日	中国・四国ブロック高齢者施設のためのHIV感染症対策研修会	Web
9月2日	ケアマネジャー大会	Zoom
9月11日	第1回赤磐市介護支援専門員研修会	赤磐市役所本庁
9月24日	医療・介護関係者のための研修会	Zoom
10月10日	第16回ケアカフェあかいわ	赤磐医師会病院
11月13日	他法人が運営する指定居宅介護支援事業所と共同での事例検討会	山陽総合福祉センター
12月9日	令和7年度居宅介護支援事業所管理	ピュアリティまきび
12月16日	対象者を理解するための勉強会	赤磐市役所本庁
1月29日	令和7年度第2回主任ケアマネ委員会オンライン研修	オンライン
1月30日	医療と介護の連携に関する研修会	学び館サエスタ
2月4日	岡山支部自主研修	おかやま西川原プラザ

職員会議（内部研修）

開催日	主な内容
7月31日	チャット GPT 活用法（初級編）

2) 山陽デイサービスセンター

開催日	会議名等	場 所
8月12日	パーキンソン病について	Web
10月9日	基準緩和型通所サービス説明・基本プログラム（運動編）実技	中央図書館
10月15日	令和7年度給食施設管理者・従事者合同研修会	Zoom
10月23日	基準緩和型通所サービス説明・基本プログラム（口腔編）実技及び講和	赤磐市役所本庁
10月31日	基準緩和型通所サービス説明・基本プログラム（栄養編）講和	赤磐市役所本庁
1月20日	赤磐市高齢者・障害児（者）虐待防止研修	赤磐市環境センター

3) 春の家デイサービスセンター

職員会議（内部研修）

開催日	主な内容
10月21日	入浴介助について
1月21日	接遇マナーに関する研修

4) あかいわ社協ホームヘルプステーション

開催日	会議名等	場 所
12月11日	令和7年度第3回研修会	Zoom
3月14日	令和7年度第4回研修会	吉備国際大学高梁国際交流会館

職員会議（内部研修）

開催日	主な内容等
4月19日	法令遵守、アンガーマネジメント、接遇（訪問介護における接遇）
5月19日	認知症の理解
6月17日	記録の書き方について
6月21日	食中毒について
9月24日	ヘルパーの医療行為について
10月30日	B C Pについて（基礎）

② 事業所全体研修会の開催（Web研修として事業所ごとに実施）

開催月	主な内容等
10月	認知症ケアに関する研修 プライバシー保護に関する研修
11月	感染症及び食中毒の発生の予防及びまん延の防止に関する研修 B C P研修
12月	高齢者防止関連法含む虐待防止に関する研修 身体拘束の排除の取り組みに関する研修
1月	倫理法令遵守に関する研修 接遇に関する研修
2月	事故の発生予防再発防止に関する研修 緊急時の対応に関する研修

（4）情報通信技術（ICT化）による業務効率化の検討

① 科学的介護推進体制加算取得に向けた研究

訪問系サービス向け記録システム導入の検討

- ・訪問介護事業の記録業務の効率化



V. 総務課

1. 組織の基盤・体制強化

(1) 法人の運営

① 正副会長会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第 1 回 5 月 27 日	1) 第 1 回理事会（6 月 5 日開催）及び第 1 回定時評議員会（6 月 19 日開催）への提出議題等について 2) 資金運用状況及び運用計画について 3) 令和 6 年度地域福祉活動基金事業報告及び決算報告について 4) 赤磐市地域包括支援センターの次年度業務継続について 5) 令和 6 年度資金収支決算＜総括＞について 6) 令和 7 年度ふれあい見守りネットワーク活動申請状況について 7) おかやまコープとの協働による常設型フードドライブの実施について 8) 「ハラスメント等第三者委員会」報告について	会 長 1 人 副会長 2 人
第 2 回 12 月 5 日	1) 第 4 回理事会（12 月 16 日開催）への提出議題等について	副会長 2 人
第 3 回 3 月 3 日	1) 第 5 回理事会（3 月 12 日開催）への提出議題等について 2) 第 4 回評議員会（3 月 24 日開催）への提出議題等について 3) 介護保険事業について	会 長 1 人 副会長 2 人

② 理事会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第 1 回 6 月 5 日	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告（令和 6 年度補正予算〔第 6 号〕） 3) 令和 6 年度事業報告及び決算報告 4) 定時評議員会に諮る役員候補者の選定 5) 立替金等請求に関する訴訟の提起 6) 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正（案） 7) 表彰規程の一部改正（案） 8) 令和 7 年度 補正予算〔第 1 号〕（案） 9) 令和 7 年度 第 1 回定時評議員会の開催 10) 赤磐市地域包括支援センターの次年度業務継続について 11) 資金運用状況及び運用計画について 12) 令和 7 年度 ふれあい見守りネットワーク活動申請状況について 13) おかやまコープとの協働による常設型フードドライブの実施について 14) 「ハラスメント等第三者委員会」報告について	理 事 12 人 監 事 2 人
第 2 回 6 月 19 日	1) 会長及び副会長の選任 2) 評議員選任・解任委員会委員の選任 3) 評議員候補者の推薦 4) 部会員等の互選について 5) 生活福祉資金調査委員の選任について 6) 「第 5 次地域福祉活動計画及び第 4 次社協発展・強化計画策定スケジュールについて 7) 令和 7 年度赤磐市戦没者追悼式について	理 事 10 人 監 事 2 人
第 3 回 8 月 22 日	1) 会長職務の執行状況 2) 就業規則の一部改正 3) 山陽老人福祉センターの設置及び管理に関する規則の一部改正 4) 令和 7 年度 補正予算〔第 2 号〕（案） 5) 令和 7 年度 第 2 回評議員会の開催について 6) 介護保険等事業部会（7 月 25 日開催）報告 7) 介護保険等事業の経営方針について 8) 令和 7 年度 赤磐市社会福祉協議会会長表彰・感謝について	理 事 12 人 監 事 1 人

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
	9) 第5次地域福祉活動計画策定進捗状況 10) 第4次社協発展・強化計画策定進捗状況 11) 居住支援事業の実施状況 12) 「第8回 赤磐市社会福祉協議会社会福祉大会」の開催 13) 令和7年度 災害ボランティア養成講座／災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催	
第4回 12月16日	1) 総務部会（11月10日開催）報告 2) 介護保険等事業部会報告（11月6日開催）報告 3) 会長職務の執行状況 4) 介護保険事業の廃止及び縮小 5) 評議員候補者の推薦 6) 評議員会に諮る役員候補者の選任 7) 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 8) 職員給与規程の一部改正 9) 山陽老人福祉センターの設置及び管理に関する規則の一部改正 10) 山陽デイサービスセンター運営規程の一部改正 11) 令和7年度 第3回評議員会の開催 12) 第3次社協発展・強化計画最終評価及び第4次社協発展・強化計画の方向性について 13) 中間監査報告 14) フードドライブポスト設置促進事業の実施状況 15) 第5次地域福祉活動計画（素案） 16) 第8回赤磐市社会福祉協議会社会福祉大会アンケート集計結果	理 事 9人 監 事 2人
第5回 3月12日	1) 会長職務の執行状況 2) 臨時的雇用職員の任用、給与、勤務時間その他勤務条件に関する規程の一部改正 3) 職員給与規程の一部改正 4) 経理規程の一部改正 5) 令和7年度補正予算〔第3号〕（案） 6) 役員等賠償責任保険契約の締結について 7) 第5次地域福祉活動計画（案） 8) 令和8年度事業計画書（案） 9) 令和8年度資金収支予算書（案） 10) 令和7年度第4回評議員会の開催 11) 生活福祉資金調査委員会委員の選出 12) 第4次社協発展・強化計画（案） 13) 介護保険事業所廃止・縮小 14) 市財政援助団体監査（令和8年2月12日実施）報告	理 事 11人 監 事 2人

③ 評議員会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第1回 6月19日	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告（令和6年度 補正予算〔第6号〕） 3) 令和6年度 事業報告及び決算報告 4) 理事及び監事の選任について 5) 令和7年度 補正予算〔第1号〕（案） 6) 令和7年度 ふれあい見守りネットワーク活動申請状況について 7) 令和7年度 地区社会福祉協議会設置促進計画及び活動スケジュールについて 8) 第5次地域福祉活動計画及び第4次社協発展強化計画策定スケジュールについて 9) おかやまコープとの協働による常設型フードドライブの実施について 10) 「ハラスメント等第三者委員会」報告について	評議員 16人 会 長 1人 副会長 2人 監 事 2人

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第 2 回 9 月 18 日	1) 会長職務の執行状況 2) 令和 7 年度補正予算〔第 1 号〕（案） 3) 介護保険等事業部会（7 月 25 日開催）報告 4) 第 5 次地域福祉活動計画策定進捗状況 5) 第 4 次社協発展・強化計画策定進捗状況 6) 居住支援事業の実施状況 7) 「第 8 回赤磐市社会福祉協議会社会福祉大会」の開催	評議員 16 人 会 長 1 人 副会長 2 人 監 事 2 人
第 3 回 1 月 23 日	1) 会長職務の執行状況 2) 理事の選任 3) 中間監査（令和 7 年 11 月 27 日実施）報告 4) 介護保険事業の方向性 5) 第 5 次地域福祉活動計画（素案） 第 5 次地域福祉活動計画（素案）に関する意見募集 6) 第 3 次社協発展・強化計画最終評価及び第 4 次社協発展・強化計画の方向性 7) フードドライブポスト設置促進事業の実施状況 8) 第 8 回赤磐市社会福祉協議会社会福祉大会アンケート集計結果	評議員 13 人 会 長 1 人 副会長 2 人 監 事 2 人
第 4 回 3 月 24 日	1) 会長職務の執行状況 2) 令和 7 年度補正予算〔第 3 号〕（案） 3) 第 5 次地域福祉活動計画（案） 4) 令和 8 年度事業計画書（案） 5) 令和 8 年度資金収支予算書（案） 6) 第 4 次社協発展・強化計画の策定について 7) 介護保険事業所閉鎖・縮小 8) 市財政援助団体監査（令和 8 年 2 月 12 日実施） 9) フードドライブ食品寄付募集チラシ	評議員 13 人 会 長 1 人 副会長 2 人 監 事 2 人

④ 評議員選任・解任委員会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
6 月 12 日	1) 評議員の選任について 2) 令和 7 年度 6 月 事務局体制等について 3) 令和 7 年度 事業計画について 4) 「ハラスメント等第三者委員会」報告について	委 員 5 人 会 長 1 人
6 月 19 日	【書面議決】 1) 評議員の選任について	（同意書提出） 委 員 5 人
12 月 26 日	【書面議決】 1) 評議員の補充選任について	（同意書提出） 委 員 5 人

⑤ 総務部会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第 1 回 11 月 10 日	1) 「第 3 次社協発展・強化計画」最終評価（案）及び「第 4 次社協・発展強化計画」における今後の取り組み（案） 2) 「第 4 次地域福祉活動計画」最終評価（案） 3) 第 4 回理事会の開催について 4) 「支え合いの地域づくりフォーラム in あかいわ」（社協役員研修）について	部会員 6 人 会 長 1 人
第 2 回 2 月 27 日	1) 「第 4 次社協・発展強化計画（素案）」について 2) 「第 5 次地域福祉活動計画（案）」について	部会員 6 人 会 長 1 人

⑥ 介護保険等事業部会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第 1 回 7 月 25 日	1) 介護保険等事業の実施について 2) 介護保険等事業の経営判断について	部会員 4 人 会 長 1 人
第 2 回 11 月 6 日	1) 介護保険等事業利用状況報告（令和 7 年 4 月～9 月末現在） 2) 令和 7 年度介護保険事業の資金収支決算見込み 3) 令和 8 年度赤磐市補助金要求状況 4) 介護保険等事業の方向 5) 令和 9 年度介護保険等事業の実施について	部会員 4 人 会 長 1 人

（2）専門的知見に基づく適切な組織運営

社会福祉法人の社会的信用度向上、重大な問題発展への事前防止策としての効果として、専門職（顧問弁護士及び社会保険労務士）に適宜アドバイスを求めながら、適切な組織運営に取り組みました。

（3）決算監査・中間監査の実施

① 監事会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
5 月 20 日	令和 6 年度事業報告及び一般会計の監査	監 事 2 人 会 長 1 人
11 月 27 日	令和 7 年度事業及び一般会計の中間監査	監 事 2 人 会 長 1 人

② 赤磐市財政援助団体監査

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
2 月 12 日	令和 7 年 12 月末日までにおける赤磐市の助成金に係る出納その他事務の監査	行政監査委員 2 人 監査事務担当者 2 人 行政担当者 2 人

（4）苦情解決への取り組み

① 第三者委員会

苦情申出人又は苦情解決責任者からの第三者委員立ち会い要請が生じなかったことから、第三者委員会を開催せず、令和 6 年度苦情案件概要を取り纏め、苦情受付状況について、第三者委員に対し報告を行いました。

② ポスターやホームページ等による苦情受付窓口の周知

市民や利用者等に対し、苦情受付窓口を明確にするため、各事務所及び事業所へポスターを掲示するとともに、ホームページ掲載の苦情受付窓口案内の内容更新を行いました。

（5）財務諸表等の情報開示

① インターネット福祉・保健・医療総合サイト（WAM NET）を通じた情報開示

- ・現況報告書（令和 7 年 4 月 1 日現在）
- ・財 務 諸 表（令和 6 年度）

(6) 社会福祉法人との地域における公益的な取組

① 赤磐市社会福祉法人連絡会の運営

・総 会

月 日	内 容	出席者数
5 月 12 日	1) 令和 6 年度赤磐市社会福祉法人連絡会 事業報告について 2) 令和 6 年度赤磐市社会福祉法人連絡会 決算報告及び監査報告について 3) 令和 7 年度赤磐市社会福祉法人連絡会 事業計画（案）について 4) 令和 7 年度赤磐市社会福祉法人連絡会 収支予算（案）について 5) 赤磐市社会福祉法人連絡会会則の一部改定（案）について 6) 赤磐市社会福祉協議会理事の選任 7) 第 5 次地域福祉活動計画策定委員の推薦	会 員 14 人 書面議決 2 人

・役員会

月 日	内 容	出席者数
4 月 30 日	<正副会長会> 1) 令和 6 年度事業及び決算報告について 2) 令和 7 年度事業計画（案）及び予算（案）について 3) 赤磐市社会福祉法人連絡会 会則の一部改定（案）について 4) 社会福祉協議会理事の選任について 5) 第 5 次地域福祉活動計画策定委員の推薦について 6) 令和 7 年度総会（令和 7 年 5 月 12 日開催）提出内容について	連絡会 会 長 1 人
5 月 12 日	<監事会> 1) 令和 6 年度事業報告について 2) 令和 6 年度決算書類について 3) 書類精査	連絡会 監 事 2 人 会 長 1 人

② 赤磐市社会福祉法人連絡会における各部会の開催

・生活困窮者支援部会

月 日	内 容	出席者数
第 1 回 5 月 28 日	1) 令和 6 年度生活困窮者支援部会報告について 2) くらしサポート事業に係るのぼり旗の検討状況について 3) 令和 7 年度生活困窮者支援部会事業について 4) 第 5 次地域福祉活動計画について 5) 令和 7 年度年間スケジュールについて	連絡会 部会員 7 人
第 2 回 12 月 12 日	1) 令和 7 年度生活困窮者支援部会の実施状況について 2) 事業の振り返りにについて 3) しごとサポート事業「あかいわーく」事業所紹介シートの作成について 4) 令和 8 年度生活困窮者支援部会事業計画について	連絡会 部会員 8 人

・地域づくり推進部会

月 日	内 容	出席者数
第 1 回 7 月 14 日	1) 地域公益活動実態調査報告（活動報告リレー） [報告者] 社会福祉法人岡山こども協会 あかいわ児童発達支援センターもみじの家所長 2) 令和 6 年度地域づくり推進部会報告について 3) 令和 7 年度地域づくり推進部会事業について ①地域公益活動実態調査更新について ②活用サポートガイドの更新について 4) 情報交換「できたら良いなこんな取り組み～地域公益活動について～」	連絡会 部会員 15 人
第 2 回 12 月 10 日	1) 地域公益活動実態調査報告（活動報告リレー） [報告者] 社会福祉法人昭友会 小規模多機能型居宅介護キバラ 2) 令和 7 年度地域づくり推進部会報告（中間報告）について 3) 赤磐市社会福祉協議会 第 5 次地域福祉活動計画（素案）について 4) 令和 8 年度地域づくり推進部会事業（案）について	連絡会 部会員 9 人

・会議研修会等への参加

月 日	内 容	出席者数
7 月 4 日	第 1 回市町村域における社会福祉法人ネットワーク連携・協働促進会議 1) 各ネットワークの取組紹介 2) グループワーク① 各ネットワークの取組紹介を踏まえ、今年度地域公益活動を取り組む上でのヒントについて意見交換し、学び合う。 3) 他県の取組紹介 「地域公益活動を通じた人材育成・交流について」 南国市社会福祉法人による公益的な取組連絡会「しゃこう連」 社会福祉法人 和香会 理事長 植村 芳明 氏 事務局 南国市社会福祉協議会 地域福祉課長 丹生谷 行朗 氏 4) グループワーク②・全体発表 ・他県の取組紹介を聞いての感想・気づきの共有、目標設定	職 員 1 人
2 月 10 日	第 2 回市町村域における社会福祉法人ネットワーク連携・協働促進会議 1) 各ネットワークのふりかえりタイムー実践を見つめ、次につなぐ 2) 情報交換・交流ワークショップーみんなに聞いてみたい！から始まる学び合い 3) ネットワークのスローガン&目標づくりー実践を褒め合い、想いを言葉に	職 員 1 人

(7) 組織体制等の基盤強化

① 組織体制・事業運営体制（部署間連携）・経営管理等の強化

重点事業

本会が取り組む各種地域福祉事業を円滑に推進し、多岐にわたる業務に対応していくため、引き続き、「総務課」「地域福祉課」「生活支援課」「介護保険課」「地域包括支援センター」の『4課1センター』体制において、社協事業を推進しました。必要に応じて、部署を超えた横断的な協議の場を設けるとともに、毎月開催の「課長会」において事業の執行状況等、幹部職員間での部門間の情報共有を徹底し、連携に努めました。

また、役員（理事・監事）及び評議員の任期が、令和7年度第1回定時評議員会終結の時をもって満了となることから、令和6年度末から令和7年度初めにかけて、役員及び評議員候補者推薦母体に対し候補者の推薦依頼を行い、スムーズに新役員及び新評議員就任移行に繋げられるよう取り組むとともに、就任に際し必要とする各種書類の提出を求め、取り纏めの事務手続きを行いました。

② コンプライアンス（法令遵守）の強化

本会の事業推進における基本理念、また組織において遵守すべき「法律・法令」、就業規則や職員の行動規範を定めた諸規程を遵守していくため、職員採用時において「法令遵守マニュアル」を配布するとともに、職員に対し、動画視聴を通じたコンプライアンス研修を実施し、本会における基本理念等の意識統一に取り組みました。

③ 職員の資質向上及び人材育成（各種研修（専門知識の向上）、階層別研修への参加促進）

・役職員等研修会

月 日	内 容	出席者数
12 月 20 日	令和7年度 役員研修 「支え合いの地域づくりフォーラム in あかいわ～広げよう、支え合いの輪～」 1) 基調講演「高齢者の孤立予防についての理解と地域におけるつながりづくり～住民主体の支え合い活動に学ぶ～」 講師 岡山県立大学保健福祉学部 教授 村社 卓 氏 2) 実践発表「赤磐市内実践団体」 報告者 ①沼田元気クラブ（沼田区） ②さくら会（由津里区） ③西一たすけあい隊（桜が丘西1丁目） コーディネーター 岡山県立大学保健福祉学部 教授 村社 卓 氏 [会 場] 赤磐市赤坂健康管理センター	理 事 11 人 監 事 2 人
3 月	コンプライアンス研修（職員研修） 動画視聴を通じたレポート提出（動画テーマ：「コンプライアンスに対する心構えについて」）	職 員 97 人

・外部研修への参加促進

本会職員の資質と専門性の向上を目的に、事業を推進するうえで必要とする研修受講のため、研修に参加しやすい体制づくりに努め、岡山県社会福祉協議会が開催する下記研修へ出席しました。

月 日	内 容	出席者数
5 月 12 日	令和 7 年度 社協職員新任研修 1) 講義「地域福祉を推進する社協の役割について」 岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 2) 講義「社会福祉協議会とは」 講師：ノートルダム清心女子大学 准教授 中 井 俊 雄 氏 3) 実践発表「社協職員としてのやりがい・醍醐味について」 発表者：市町村社会福祉協議会先輩職員 コーディネーター ノートルダム清心女子大学 准教授 中 井 俊 雄 氏 4) 社協職員仲間づくり・目標設定 〔会 場〕きらめきプラザ	職 員 1 人

④ 必要とする専門職の人材確保（障害者雇用における法定雇用率の維持）

事業継続に必要とする専門職の確保を行うため、必要に応じて随時職員採用試験を実施し、人材確保に取り組みました。（障害者雇用における法定率：4.2%）

所 属 等	正規職員	嘱託職員	臨時職員	パートタイム職員	計
事務局（老人福祉センター）		3 人	1 人	1 人	5 人
介護保険事業所				11 人	11 人
地域包括支援センター		4 人		1 人	5 人
合 計		7 人	1 人	13 人	21 人

⑤ 実習生の受入

実 習 生	新見公立大学（3 回生） 実習生数：1 名	岡山医療センター附属岡山看護助産学校（3 回生） 実習生数：7 名
実習期間	令和 7 年 6 月 16 日～7 月 3 日 令和 7 年 7 月 14 日～8 月 1 日 実習時間：224 時間	令和 7 年 10 月 14 日～11 月 18 日 延べ実習日数：28 日間 実 習 時 間：24 時間
主な内容	社会福祉士養成課程における相談援助実習 ・各課（総務課、地域福祉課、生活支援課、介護保険課）におけるコミュニティ・ソーシャルワーク実習	看護師養成における地域・在宅看護論実習 ・各課（地域福祉課）、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所における地域・在宅看護論実習

（8）総合的人事管理

① 評価表に基づく人事考課制の運用

職員給与規程第 15 条の規定に基づき、正規職員を対象に人事評価を実施しました。

② 職員処遇の継続的改善及び検討

岡山県最低賃金改定に伴う臨時的雇用職員の賃金体系見直しを行うとともに、赤磐市職員給与条例改正に準じて、俸給表の改定を行いました。

③ 次世代育成にかかる第 4 次一般事業主行動計画の推進

次世代育成支援対策支援法及び女性活躍推進法に基づく「第 4 次一般事業主行動計画」（令和 6 年 4 月 1 日より令和 9 年 3 月 31 日）の目標達成に向けて情報共有及び実態把握を行いました。

- ・ノー残業デーの実施（1 週間に 1 回）
- ・年次有給休暇の取得推進（取得率：正規職員：72%/臨時的雇用職員：71%）
- ・管理職に占める女性の割合（50%）
- ・女性の積極的な採用（採用数：嘱託職員：5 名、パートタイム職員：10 名）

④ 安全衛生委員会の開催

月 日				主 な 協 議 事 項 等
[安全衛生委員会]				・ 職員の健康管理、衛生等について ・ 季節特有の健康問題について
第 1回	4 月 24 日	第 7回	10 月 23 日	
第 2回	5 月 22 日	第 8回	11 月 25 日	
第 3回	6 月 26 日	第 9回	12 月 18 日	
第 4回	7 月 24 日	第10回	1 月 29 日	
第 5回	8 月 21 日	第11回	2 月 26 日	
第 6回	9 月 24 日	第12回	3 月 26 日	

⑤ 職員の心身の健康管理、ワークライフバランスの向上

職員のストレスの程度の把握や、メンタルヘルスの不調を防止することを目的として、ストレスチェックを9月に実施しました。結果については、本会産業医の確認を行ったうえ、和気労働基準監督署に報告しました。また、産業医健康相談を以下の日程で月1回実施しました。

・産業医健康相談の実施

月 日				主 な 協 議 事 項 等
[健康相談日]				・ 定期健康診断の結果に対する指導 ・ 職員相談対応
第 1回	4 月 11 日	第 7回	10 月 10 日	
第 2回	5 月 9 日	第 8回	11 月 21 日	
第 3回	6 月 13 日	第 9回	12 月 12 日	
第 4回	7 月 11 日	第10回	1 月 9 日	
第 5回	8 月 8 日	第11回	2 月 13 日	
第 6回	9 月 12 日	第12回	3 月 13 日	

2. 財政運営の適正化

(1) 社協発展・強化計画の推進

重点事業

① 安定的で持続可能な経営基盤の構築

第3次社協発展・強化計画を骨子に、各事業の効率や成果、収支バランスを見極め、安定的で持続可能な経営基盤の構築に努めました。

② 業務執行の近況及び収支状況の共有化

第3次社協発展・強化計画に基づき、計画的な予算管理及び予算を執行するため、四半期毎の執行状況及び前年度対比について情報共有を図りました。

③ 第3次社協発展・強化計画評価の実施

第3次社協発展・強化計画の計画期間最終年度に伴い、3か年の取り組みの振り返りを行うとともに、事業の方向性について精査し、経営理念に基づいた評価を実施しました。

④ 第4次社協発展・強化計画の策定

第3次計画の達成状況や、そこから見えてくる課題等を踏まえ、今後更に発展強化をしていくべき新たな経営理念を掲げるとともに、それに伴う令和8年度から令和10年度に向けて取り組む実施項目及び達成数値目標を設定し、総務部会、正副会長会及び理事会等において協議のうえ、「第4次社協発展・強化計画」を策定しました。

<第4次社協発展・強化計画策定に向けた主な経過>

年 月	理事会・評議員会等	作 業 内 容
令和7年 1月～3月	○理事会 (1月31日) ○評議員会 (3月25日) (第4次社協発展・強化計画の策定に向けて)	

年 月	理事会・評議員会等	作 業 内 容
令和 7 年 4 月～ 5 月		令和 6 年度評価（経営状況） ・令和 6 年度決算に伴う令和 6 年度目標値との比較分析
令和 7 年 6 月～10 月	○理事会 （ 8 月 22 日） ○評議員会 （ 9 月 18 日） （第 4 次社協発展・強化計画策定 進捗状況）	◆第 3 次社協発展・強化計画 3 か年評価 ・令和 5 年度から 7 年度における実施項目に対す る現状把握、「強み・弱み」の分析 ・評価及び目標値比較から見えてくる課題抽出及 び整理 ・実施項目における第 4 次社協発展・強化計画方 向性の検討 等 ◇課長会議
令和 7 年 11 月	○総務部会 （11 月 10 日） （第 3 次社協発展・強化計画評価 及び第 4 次計画方向性協議）	
令和 7 年 12 月	○正副会長会（12 月 15 日） ○理事会 （12 月 16 日） （第 3 次社協発展・強化計画評価 及び第 4 次計画方向性協議）	◆第 3 次社協発展・強化計画 3 か年評価 ・令和 7 年度決算見込積算による 3 年予算目標値 との比較及び分析 ◆第 4 次社協発展・強化計画素案作成 ・課題に対する具体的な取り組みの検討及び実施 項目の設定 ・経営理念の明確化 ・目標設定（実施項目に基づく R8 年度予算積算） ◇課長会議
令和 8 年 1 月	○評議員会 （ 1 月 23 日） （第 3 次社協発展・強化計画評価 及び第 4 次計画方向性報告）	
令和 8 年 2 月	○総務部会 （ 2 月 27 日） （第 4 次社協・発展強化計画素案 協議）	◆第 4 次社協発展・強化計画素案見直し
令和 8 年 3 月	○理事会 （ 3 月 12 日） （第 4 次社協・発展強化計画素案 協議及び承認） ○評議員会 （ 3 月 24 日） （第 4 次社協・発展強化計画報告）	◆職員周知

・第 5 次地域福祉活動計画との連動

前計画から引き続き、第 4 次社協発展・強化計画を「組織」「人材」「財務」等、経営に特化した内容とした一方、第 5 次地域福祉活動計画と一体的に推進していくため、第 5 次地域福祉活動計画の目標、また将来的な展望も踏まえた令和 8 年度予算額を目標として設定し、事業推進及び諸課題に向けた実施項目に取り組むこととしました。令和 9 年度以降の目標値については、本会が取り組んでいくべき各種事業実施に係る人件費及び事業費に加え、介護保険事業所閉鎖に係る進捗状況を踏まえ、協議検討を図っていくこととしました。

（2）安定的・効果的な財務運営

① 既存事業の効率化・見直し等による事業費抑制及び有効活用

第 3 次社協発展・強化計画の数値や、事業の収支バランスに目を向けながら、限られた予算を有効に活用するため、事業効率を意識し、経費の適切な執行に努めるとともに、事業費の抑制に取り組みました。

② 資金運用委員会の開催（積立資産等の適正な管理及び効率的な運用）

本会資金運用規程第 6 条の規定により、正副会長会において資金運用委員会を開催し、積立資金等の適正な管理及び効率的な運用先を協議しました。

月 日	協議内容	出席者数
5 月 27 日	資金運用状況及び運用計画	3 名

③ 公費財源の確保

赤磐市と連携を図り、既存受託事業を継続するとともに、事業の必要性や理解を求めながら、令和 8 年度に向け、令和 7 年 9 月に赤磐市へ補助金及び受託金の予算要求を行いました。

④ 自主財源確保

本会に対する寄付について、税制上の優遇措置（寄付金控除）対応を継続して行うとともに、社会福祉大会等での募金箱設置による自主財源確保に努めました。

⑤ 寄付金の受付

内 容	令和7年度		前年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
香典返し	40 件	740,000 円	57 件	910,000 円
一般寄附金	11 件	216,764 円	16 件	175,572 円
合 計	51 件	956,764 円	73 件	1,085,572 円

3. 広報啓発事業

(1) 広報啓発活動

① 広報紙「福祉のひろば」の発行

年6回（各17,250部）発行（偶数月）及び全戸配布

② ホームページ、Facebook 等による福祉情報の発信

ホームページ及び即時性をもった Facebook を活用し、各課・センターにおいて実施する社協事業や地域における福祉活動等の情報発信を実施しました。

（更新内容）各種事業の紹介、助成事業の募集情報、社協広報紙「福祉のひろば（第122号～第125号）」の更新、求人情報、赤磐市社会福祉法人連絡会状況更新 他

③ マスコットキャラクター（こももちちゃん）を活用した広報啓発

本会の認知度向上と活動への理解をPRするため、マスコットキャラクターを活用し、広報紙やホームページ、Facebook 等を通じて、地域の福祉活動の周知、情報発信、社協認知度の向上に努めました。



(2) 社会福祉大会の開催

重点事業

① 社会福祉活動功労者の顕彰及び講演

（生活困窮者自立支援事業に係るセミナーとの合同開催）

月 日	内 容	会 場	参加者数
10 月 15 日	1) 式典（表彰：30 名、感謝：19 団体） 2) 特別講演 「地域で最期まで支える ～一人ひとりを支える地域づくり～」 講師：社会福祉法人 琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏 (※) 令和7年度 生活困窮者自立支援セミナー との合同開催	くまやまふれあい センター	140 名

(3) 広告掲載・斡旋事業

内 容		令和7年度		前年度	
		件 数	金 額	件 数	金 額
広告掲載	広 報 紙	12件	135,000円	10件	130,000円
バナー掲載	ホームページ	0件	0円	1件	
合 計		12件	135,000円	11件	130,000円

(※) バナー掲載の掲載期間が年度を跨がったため、金額は0円（令和5年度に計上）

(4) 後援（協賛・共催）状況

後援等方法	内 容	実施期間／場所
名義後援	赤磐市ペタンク協会	4月7日～ 令和8年3月31日
名義後援 (共催)	赤磐市介護・福祉就職フェア	8月24日 桜が丘いきいき交流センター
名義後援	第5回岩田元気ふれあいまつり	10月19日 高月公民館

4. 指定管理施設の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

指定管理

① 山陽総合福祉センター

<施設の維持管理>

- ・ 夜間警備
- ・ 館内・館外清掃
- ・ 清掃用具等(マット等)レンタル
- ・ 自動ドア保守点検
- ・ 消防設備点検
- ・ エレベーター保守点検
- ・ 電気保安点検
- ・ 害虫駆除
- ・ 冷暖房保守点検
- ・ 産業廃棄物収集運搬処分
- ・ 特定建築物定期報告（防火設備）
- ・ 館内ワックスがけ、窓ふき清掃

<施設修繕>

- ・ 入浴設備出入口自動ドア修繕
- ・ 厨房遮断弁・事務室遮断弁コントローラー・厨房警報器交換
- ・ 地階、エレベーター前、2階講座研修室及び中会議室照明器具取替工事
- ・ 機械室 吸収冷温水機1号機冷暖切替弁取替
- ・ Wi-Fi 設置工事

<避難訓練>

- ・ (協力業者)株式会社 岩本 2月25日実施

<施設利用状況>

施 設 名	令和7年度		前年度	
	件 数	延人数	件 数	延人数
相 談 室	—	—	—	—
和 室	1 件	16 人	4 件	57 人
小 会 議 室	81 件	356 人	63 件	273 人
中 会 議 室	61 件	515 人	54 件	433 人
大 会 議 室	3 件	74 人	0 件	0 人
講 座 研 修 室	92 件	1,485 人	106 件	1,862 人
合 計	238 件	2,446 人	237 件	2,625 人

② 赤坂福祉サービスセンター「春の家」

指定管理

<施設の維持管理>

- ・ 夜間警備
- ・ 館内清掃
- ・ 清掃及びマットレンタル等
- ・ 自動ドア保守点検
- ・ 電気保安点検
- ・ 害虫駆除
- ・ ボイラー保守点検
- ・ 消防設備点検

<施設修繕>

- ・ デイフロア修繕
- ・ トイレ及び事務室他照明器具交換工事
- ・ 消防用設備点検不良箇所修繕（入浴場奥通路誘導灯及び職員用入口誘導ランプ交換他）

<避難訓練及び防火訓練>

- ・（協力業者）株式会社 岩本 10月7日実施

③ 赤磐市山陽高齢者生きがいセンター

指定管理

・「木楽会」利用状況

	令和7年度		前年度	
会員数	17人		16人	
月	活動日数	延べ人数	活動日数	延べ人数
4月	24日	76人	26日	101人
5月	27日	73人	25日	99人
6月	26日	57人	26日	86人
7月	26日	62人	26日	88人
8月	27日	61人	26日	60人
9月	26日	59人	23日	62人
10月	26日	64人	25日	72人
11月	26日	75人	26日	68人
12月	24日	76人	23日	69人
1月	23日	61人	23日	68人
2月	24日	60人	24日	78人
3月	27日	60人	26日	83人
合 計	306日	784人	299日	934人
1日平均	—	2.6人	—	3.1人

・総会、展示及び出店等

- 1) 総会／4月11日 会場：山陽老人福祉センター（出席者数）14名
- 2) 定例会／年間12回
- 3) 山陽地区高齢者生きがい作品展示会 1月31日～2月1日
山陽老人福祉センターでの作品展示 （出展者）5名
- 4) あかいわマルシェ
8月、12月 会場：赤磐市図書館外側通路
- 5) 視察研修
和気郡和気町北山「風車」
創作活動の視察 （参加者）6名



5. 山陽老人福祉センター「あかいわほほえみプラザ」の運営

市補助事業

(1) 施設（設備）の長期的で安定的な維持・管理・運営

① 施設、設備の維持管理

・安全確保のための日常点検の実施

＜老人福祉センター＞	＜浴場泉源＞
・消防用設備定期点検 ・自家用電気工作物保安全管理 ・自動扉開閉装置保守点検 等	・ESP 水中ポンプシステム保守点検 ・温泉オーバーフロー排水中和装置保守点検 ・熱源機器、ろ過機器、空調機器他定期点検 等

・防火訓練・消防訓練等の実施

月 日	内 容	参加者
1 月 27 日	自衛消防隊としての職員の役割分担 避難訓練誘導（図上訓練） 火災避難訓練（設備機器説明）	9 人

② 泉源管理（泉源名：山陽足王乃湯）

・入浴施設「足王乃湯」入浴者数

内 容		令和 7 年度			前 年 度		
				1 日平均			1 日平均
		稼働日			稼働日		—
入浴者数	市内 60 歳以上	296 日	5,485 人	19 人	313 日	5,990 人	19 人
	入浴回数券利用者【市内 60 歳以上】	〃	19,582 人	66 人	〃	22,767 人	72 人
	市内障がい者	〃	1,661 人	6 人	〃	2,064 人	7 人
	市内中学生以上 60 歳未満	〃	2,712 人	9 人	〃	2,741 人	9 人
	市内小学生/市外小学生以下	〃	506 人	2 人	〃	572 人	2 人
	入浴回数券利用者 R8.3 月開始 【市内 60 歳未満】	27 日	114 人	4 人		—	
	市外中学生以上	296 日	4,710 人	16 人	〃	5,465 人	17 人
	入浴回数券利用者 R7.7 月開始 【市外】	224 日	1,005 人	5 人		—	
	「おかやま愛カード」提示者	296 日	1,119 人	4 人	〃	1,578 人	5 人
	市内乳幼児（無料）	〃	205 人	1 人	〃	196 人	1 人
	小 計		37,099 人	132 人		41,373 人	132 人
「敬老の日」無料開放		中止			中止		
そ の 他		1,221 人(内訳) ・気泡風呂故障 9/11～9/18 入浴券配布 588 人 ・シガーズ高校生合宿受け入れ 無料(5 月) 133 人 減免(7 月、8 月) 112 人 ・環境整備ボランティア } 383 人 ・イベント出演者、講師 } ・体調不良者援助 5 人			245 人(内訳) ・清掃ボランティア } 243 人 ・イベント出演者等 } ・体調不良者援助 2 人		
合 計 (A)			38,320 人			41,618 人	

※温泉棟休館 ESP 水中ポンプ故障 6 月 3 日～6 月 11 日
 ESP 水中ポンプ交換工事 10 月 1 日～10 月 8 日

③ 部屋利用者数（部会等の利用者）

内 容	令和 7 年度				前年度	
	会員数	活動日数	延べ人数	1 日平均	延べ人数	1 日平均
① 部会活動						
ときめきフラ	18 人	34 日	501 人	15 人	601 人	16 人
あかいわ囲碁同好会	35 人	24 日	613 人	26 人	581 人	24 人
明日葉会（絵画）	9 人	11 日	38 人	4 人	69 人	6 人
しの笛ぴ〜ひゃら会	15 人	21 日	278 人	13 人	302 人	13 人
みのり荘囲碁部会	36 人	23 日	643 人	28 人	694 人	32 人
切り絵部会	5 人	18 日	88 人	5 人	75 人	5 人
数独友の会	12 人	12 日	104 人	8 人	69 人	6 人
ちぎり絵	5 人	8 日	32 人	4 人	39 人	4 人
足王の湯手打ちそばの会	22 人	24 日	449 人	19 人	86 人	7 人
彩の会（健康体操）	36 人	30 日	843 人	28 人	857 人	29 人
ソドミラの会	12 人	9 日	91 人	10 人	—	—
小 計 (B)			3,680 人		3,373 人	
② 健康講座・イベント	開催日数	36 日	1,175 人	33 人	2,183 人	45 人
③ 優待・サロン・老連等	開催日数	100 日	1,773 人	18 人	1,166 人	12 人
④ 一 般（有料）	利用日数	29 日	679 人	23 人	435 人	11 人
⑤ 社協、行政（会議・事業）	開催日数	50 日	907 人	18 人	878 人	16 人
⑥ 健康増進室	開館日数	296 日	6,882 人	23 人	6,696 人	21 人
⑦ 健康の間、カラオケ	開館日数	296 日	2,391 人	8 人	1,621 人	5 人
小 計 (C)			13,807 人		12,979 人	

合計 (A)+(B)+(C)	令和 7 年度	前 年 度	前年度比較
	55,807 人	57,970 人	△2,163 人

④ 施設（設備）の長期的で安定的な維持・管理・運営

・施設特有の安全対策（レジオネラ属菌等）

温泉槽及び貯湯槽の温度確認を 30 分毎に点検／30 分毎の浴槽内人員確認・体調確認について見守り

・修繕によるコスト削減及び不具合防止対策

小破修繕の実施

・修繕の更新

関係業者と連絡を密にとり、施設や設備等の修繕状況や修繕が必要な箇所を抽出・整理し、必要性及び緊急性を勘案しながら中長期的な施設整備計画（修繕計画）を更新

・E S P 水中ポンプシステム交換工事の実施

令和 7 年度 E S P 水中ポンプシステム交換工事実施

温泉棟休館：10 月 1 日～10 月 8 日

・主な修繕の実施

＜本館＞	＜温泉棟＞
・非常用発電機蓄電池交換 ・非常用発電機設備交換 (循環油プライミング、循環油交換)	・ESP 水中ポンプ交換・関連工事 ・泉源汲み上げ計量器交換工事 ・地下ピット内給湯配管漏水修繕
・集会室 (1) パーテーション修理 ・多目的研修室ロールカーテン修理 ・Wi-fi 工事 ・手洗排水栓・排水トラップ交換 等	・貯湯槽下給湯配管漏水修繕 ・打たせ湯バルブ類取替修繕 ・薬湯昇温電動 3 方弁取替修繕 ・薬湯用滅菌ポンプ取替作業 ・かぶり湯排水 (1 浴・2 浴) バルブ取替修繕 ・露天風呂出入口引き戸取替 ・浴槽補給系統加圧ポンプ修繕 ・券売機故障修理 等

⑤ ボランティアによる環境美化

- ・赤磐市老人クラブ連合会山陽支部

月 日	内 容	参加者
5 月 15 日	山陽老人福祉センター周辺の清掃活動	31 人

(2) 施設認知度向上に向けた広報啓発

① 愛称「あかいわほほえみプラザ」を活用した PR

- ・健康講座等イベント情報を本会「福祉のひろば」へ掲載
- ・ホームページ (新着情報) へ情報発信
- ・施設パンフレットによる広報活動

(3) 各種講座・イベント等の開催及び充実

① 健康講座「ふれあい健康教室」の開催 ※事前予約制

- ・講師：高見 博子 氏 (環太平洋大学 非常勤講師) / 会場：集会室 1・2・3
- ・内容 毎日の生活の中で出来る筋力トレーニング
手足口を使って脳トレーニング
ゲームやダンスを通じてのふれあいタイム及び講話

実施日	4/22	5/27	6/24	7/22	8/26	9/23	10/28	11/25	12/23	1/27	2/24	3/24
参加人数 (人)	38	27	30	31	34	32	38	43	44	46	48	52

合計 463 人

② 環太平洋大学 学生企画による健康運動教室

- ・講師：伊藤 三千雄 氏、宮本 彩 氏、体育学部学生 / 会場：集会室 1・2・3
- ・内容：ボッチャ、リズム体操、しりとりジェスチャーゲーム
体操、ストレッチ、椅子に座ってできるトレーニング、目指せ健康寿命 100 歳 等

実施日	① 6/17	② 6/30	③ 7/1	④ 7/7	⑤ 7/14
参加人数 (人)	21	24	25	24	26

合計 120 人

③ イベント事業の実施

1) 自主活動グループによるハワイアンステージ

第 3 土曜日 10:30~12:00

生バンド演奏 : アロハメイツ

4 月 19 日

計 1 回実施

フラチーム発表 : 森 絹代とフラシスターズ、エオノ・プア・マリエ

5 月 17 日、7 月 19 日、9 月 20 日、12 月 20 日、3 月 21 日

計 6 回実施

2) そば打ち体験教室

実施日	4/15	5/20	6/17	7/15	8/19	9/16	10/14	11/18	12/16	1/20	2/17	3/17
参加人数 (人)	5	4	3	5	4	4	4	2	2	0	2	4

合計 39 人

3) 「足王乃湯」回数券購入者のキャンペーン実施

- ・敬老月間
- ・新春おみくじ
- ・スプリングフェア

4) 梅収穫祭（ボランティア）

月 日	内 容	場 所	参加者数
5 月 10 日	小梅収穫祭	山陽老人福祉センター梅園	袋詰め 1 人
5 月 30 日 ～6 月 4 日	大梅収穫祭		5 月 30 日受付 4 人 (※)

(※) 赤磐市老人クラブ連合会 山陽支部ボランティア

